

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果の概要

I 調査の概要

1 調査目的

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は、介護保険法第117条第5項の規定に基づき、青森市高齢者福祉・介護保険事業計画第8期計画策定の基礎資料とするため、一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者等を対象に、日常生活圏域ごとに、地域の抱える課題の特定（地域診断）に資することなどを目的に実施するものです。

2 調査の実施時期

令和元年12月2日～12月23日

3 調査対象者

令和元年11月1日現在、65歳以上及び40歳から64歳以下の市民のうち、無作為抽出した方（年齢階層ごとに市内11圏域の人口比で抽出）。

○第1号被保険者（65歳以上） 7,500人（要介護1から5の方を除く）

○第2号被保険者（40歳～64歳） 1,000人（ ” ” ）

合計 8,500人

4 実施方法

郵送配付、郵送回収

5 調査項目

○国が示す調査項目及び市独自の調査項目で構成

○全国との比較をするため、国から示された調査項目についてはそのまま活用する。

○調査項目数（65歳以上）：80項目（国調査項目64、市独自調査項目16）

調査項目数（40歳～64歳）：33項目（国調査項目26、市独自調査項目7）

【具体的な調査項目】

- ①あなたのご家族や生活状況について
- ②からだを動かすことについて
- ③食えることについて
- ④毎日の生活について
- ⑤地域での活動について
- ⑥たすけあいについて
- ⑦健康について
- ⑧認知症にかかる相談窓口の把握について
- ⑨介護予防について
- ⑩介護保険制度について
- ⑪地域包括支援センターについて
- ⑫自由記載欄

6 配付数及び回収数

(単位：人)

調査種別	圏域	対象者数	配布数	回収数	回収率
65歳以上	1 おきだて	6,731	670	437	65.2%
	2 すずかけ	7,645	670	443	66.1%
	3 中央	6,713	670	429	64.0%
	4 東青森	7,356	670	433	64.6%
	5 南	7,405	670	452	67.5%
	6 東部	7,004	670	423	63.1%
	7 おおの	7,682	670	442	66.0%
	8 寿永	6,810	670	434	64.8%
	9 のぎわ	6,213	670	427	63.7%
	10 みちのく	4,988	670	463	69.1%
	11 浪岡	4,979	800	495	61.9%
	計	73,526	7,500	4,878	65.0%
40～64歳	計	98,876	1,000	482	48.2%
合計		172,402	8,500	5,360	63.1%

【参考】平成28年度調査回収率

回収率 65歳以上：64.6%、40～64歳：45.2%、合計：62.5%

7 回答者の属性

(1) 性別

○65歳以上(高齢者)

区分	全体	おきだて	すずかけ	中央	東青森	南	東部	おおの	寿永	のぎわ	みちのく	浪岡	
男性	(人)	2,146	181	196	168	192	215	198	194	196	191	194	221
	(%)	44.0	41.4	44.2	39.2	44.3	47.6	46.8	43.9	45.2	44.7	41.9	44.6
女性	(人)	2,732	256	247	261	241	237	225	248	238	236	269	274
	(%)	56.0	58.6	55.8	60.8	55.7	52.4	53.2	56.1	54.8	55.3	58.1	55.4
回収数	(人)	4,878	437	443	429	433	452	423	442	434	427	463	495

○40歳～64歳

区分	全体	おきだて	すずかけ	中央	東青森	南	東部	おおの	寿永	のぎわ	みちのく	浪岡	
男性	(人)	220	18	26	10	24	28	23	28	21	18	12	12
	(%)	45.6	42.9	48.1	25.0	45.3	50.9	56.1	40.0	48.8	54.5	41.4	54.5
女性	(人)	262	24	28	30	29	27	18	42	22	15	17	10
	(%)	54.4	57.1	51.9	75.0	54.7	49.1	43.9	60.0	51.2	45.5	58.6	45.5
回収数	(人)	482	42	54	40	53	55	41	70	43	33	29	22

(2) 年齢構成

○65歳以上(高齢者)

区分	全体	おきだて	すずかけ	中央	東青森	南	東部	おおの	寿永	のぎわ	みちのく	浪岡
65～	(人) 1,381	116	117	107	123	132	127	123	121	126	131	158
69歳	(%) 28.3	26.5	26.4	24.9	28.4	29.2	30.0	27.8	27.9	29.5	28.3	31.9
70～	(人) 1,359	110	130	118	121	132	124	128	118	130	125	123
74歳	(%) 27.9	25.2	29.3	27.5	27.9	29.2	29.3	29.0	27.2	30.4	27.0	24.8
75～	(人) 1,024	99	94	88	99	100	84	95	90	88	96	91
79歳	(%) 21.0	22.7	21.2	20.5	22.9	22.1	19.9	21.5	20.7	20.6	20.7	18.4
80～	(人) 670	69	65	65	57	47	47	60	71	53	67	69
84歳	(%) 13.7	15.8	14.7	15.2	13.2	10.4	11.1	13.6	16.4	12.4	14.5	13.9
85～	(人) 344	32	28	38	25	32	33	31	25	26	33	41
89歳	(%) 7.1	7.3	6.3	8.9	5.8	7.1	7.8	7.0	5.8	6.1	7.1	8.3
90歳	(人) 100	11	9	13	8	9	8	5	9	4	11	13
以上	(%) 2.1	2.5	2.0	3.0	1.8	2.0	1.9	1.1	2.1	0.9	2.4	2.6
回収数	(人) 4,878	437	443	429	433	452	423	442	434	427	463	495

○40歳～64歳

区分	全体	おきだて	すずかけ	中央	東青森	南	東部	おおの	寿永	のぎわ	みちのく	浪岡
40～	(人) 80	7	10	5	11	10	4	15	7	5	4	2
44歳	(%) 16.6	16.7	18.5	12.5	20.8	18.2	9.8	21.4	16.3	15.2	13.8	9.1
45～	(人) 81	8	8	8	8	7	5	14	10	3	5	5
49歳	(%) 16.8	19.0	14.8	20.0	15.1	12.7	12.2	20.0	23.3	9.1	17.2	22.7
50～	(人) 95	7	10	8	10	12	8	13	8	10	7	2
54歳	(%) 19.7	16.7	18.5	20.0	18.9	21.8	19.5	18.6	18.6	30.3	24.1	9.1
55～	(人) 106	9	11	10	10	13	11	12	7	7	7	9
59歳	(%) 22.0	21.4	20.4	25.0	18.9	23.6	26.8	17.1	16.3	21.2	24.1	40.9
60～	(人) 120	11	15	9	14	13	13	16	11	8	6	4
64歳	(%) 24.9	26.2	27.8	22.5	26.4	23.6	31.7	22.9	25.6	24.2	20.7	18.2
回収数	(人) 482	42	54	40	53	55	41	70	43	33	29	22

II 調査結果の概要（65歳以上）

1 リスク該当者の状況

(1) リスク該当者の評価

運動機能や口腔機能などの生活機能の低下リスクを確認するための「基本チェックリスト」を基に、①虚弱、②運動機能、③低栄養、④口腔機能、⑤閉じこもり、⑥認知機能、⑦うつ、⑧転倒のリスクに該当するかどうか評価した。

リスクの評価に用いた設問と点数評価は次のとおり。

○各リスクの評価に用いた設問と点数評価

NO	設問	回答と点数			
1	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	できない (1点)	① 虚弱	以下の項目に該当した場合に、リスク該当者として評価	
2	自分で食品・日用品の買物をしていますか	できない (1点)			
3	自分で預貯金の出し入れをしていますか	できない (1点)			
4	友人の家を訪ねていますか	いいえ (1点)			
5	家族や友人の相談にのっていますか	いいえ (1点)			
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない (1点)			② 運動機能
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない (1点)			
8	15分位続けて歩いていますか	できない (1点)			⑧ 転倒
9	過去1年間に転んだ経験がありますか	・何度もある又は ・1度ある (1点)			
10	転倒に対する不安は大きいですか	・とても不安である又は ・やや不安である (1点)			③ 低栄養
11	6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	はい (1点)			
12	身長・体重 ※BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)	BMI: 18.5未満 (1点)			④ 口腔機能
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい (1点)			
14	お茶や汁物等でむせることがありますか	はい (1点)			⑤ 閉じこもり
15	口の渇きが気になりますか	はい (1点)			
16	週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない (1点)			⑥ 認知症
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	・とても減っている又は ・減っている (1点)			
18	物忘れが多いと感じますか	はい (1点)			⑦ うつ
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	いいえ (1点)			
20	今日が何月何日かわからない時がありますか	はい (1点)			
21	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい (1点)			
22	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい (1点)			

20項目のうち10点以上に該当

5項目のうち3点以上に該当

9番に該当

2項目とも該当

3項目のうち2点以上に該当

16番に該当

18番に該当

2項目のうち1点以上に該当

① 虚弱

② 運動機能

③ 低栄養

④ 口腔機能

⑤ 閉じこもり

⑥ 認知症

⑦ うつ

⑧ 転倒

(2) リスク該当者の状況

リスク該当者については、「うつ」の割合が43.1%（平成28年度42.2% 0.9ポイント増）と最も高く、次いで「認知機能」が42.7%（平成28年度46.1% 3.4ポイント減）、「転倒」が33.3%（平成28年度35.0% 1.7ポイント減）となっている。

また、「運動機能」の割合は14.4%で、平成28年度に比べて12.3ポイント減少しており、「栄養」の割合は1.4%で、平成28年度に比べ5.8ポイント減少している。

図表 リスク該当者の割合

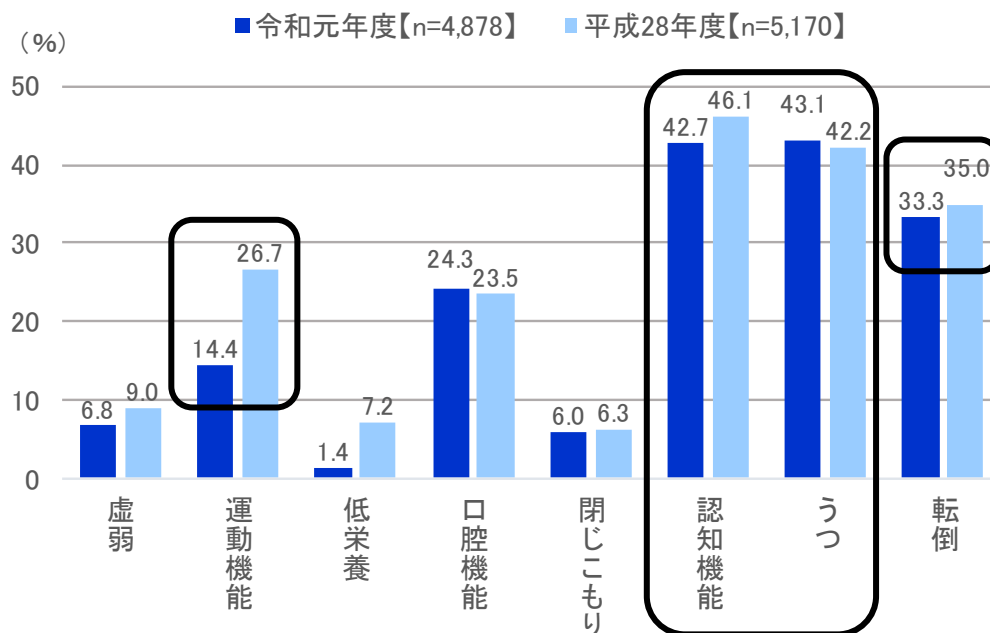


表 圏域ごとのリスク該当者の割合

区分	全体	全体(市の平均)の割合を超えているもの										
		おきたて	すずかけ	中央	東青森	南	東部	おおの	寿永	のぎわ	みちのく	浪岡
虚弱	6.8	6.2	5.6	4.9	5.3	8.8	7.8	4.5	6.9	7.7	7.3	8.9
	9.0	9.5	5.3	9.1	8.6	8.9	9.6	7.7	10.2	9.6	11.1	9.9
運動機能	14.4	14.0	12.0	12.6	10.9	15.3	15.6	11.8	15.4	15.7	15.1	19.8
	26.7	27.5	19.8	27.1	24.8	27.6	29.2	22.8	28.3	31.4	28.0	28.1
低栄養	1.4	1.1	0.7	1.2	1.8	2.0	1.2	0.9	1.4	1.2	2.2	1.8
	7.2	7.5	6.7	6.6	6.6	8.5	6.3	9.0	8.0	7.3	7.1	5.7
口腔機能	24.3	18.8	23.5	27.0	23.6	24.1	27.0	20.1	23.7	25.8	28.3	25.3
	23.5	27.3	22.8	25.3	24.2	22.1	24.4	20.0	24.6	21.0	22.6	23.6
閉じこもり	6.0	4.1	5.2	5.1	4.2	6.2	7.3	4.5	6.9	9.6	4.8	8.3
	6.3	5.9	5.7	4.1	4.0	6.0	8.8	7.0	6.6	6.2	5.4	10.6
認知機能	42.7	40.3	43.1	40.8	35.8	43.8	47.0	41.2	39.9	44.7	43.2	49.1
	46.1	48.7	41.8	44.3	45.0	47.3	48.6	44.7	48.2	45.3	48.9	45.0
うつ	43.1	41.6	38.1	46.4	44.8	45.4	45.4	46.6	42.2	39.1	41.0	43.2
	42.2	46.7	37.9	43.5	42.0	45.9	42.8	41.9	43.4	39.6	43.3	36.8
転倒	33.3	29.7	32.5	31.5	31.9	33.8	36.4	35.5	33.2	31.4	35.9	33.7
	35.0	33.9	30.1	38.1	38.4	34.6	33.0	36.2	36.1	35.3	36.5	32.3

上段：令和元年度 下段：平成28年度 (%)

2 リスク該当者と地域活動への参加状況との関係

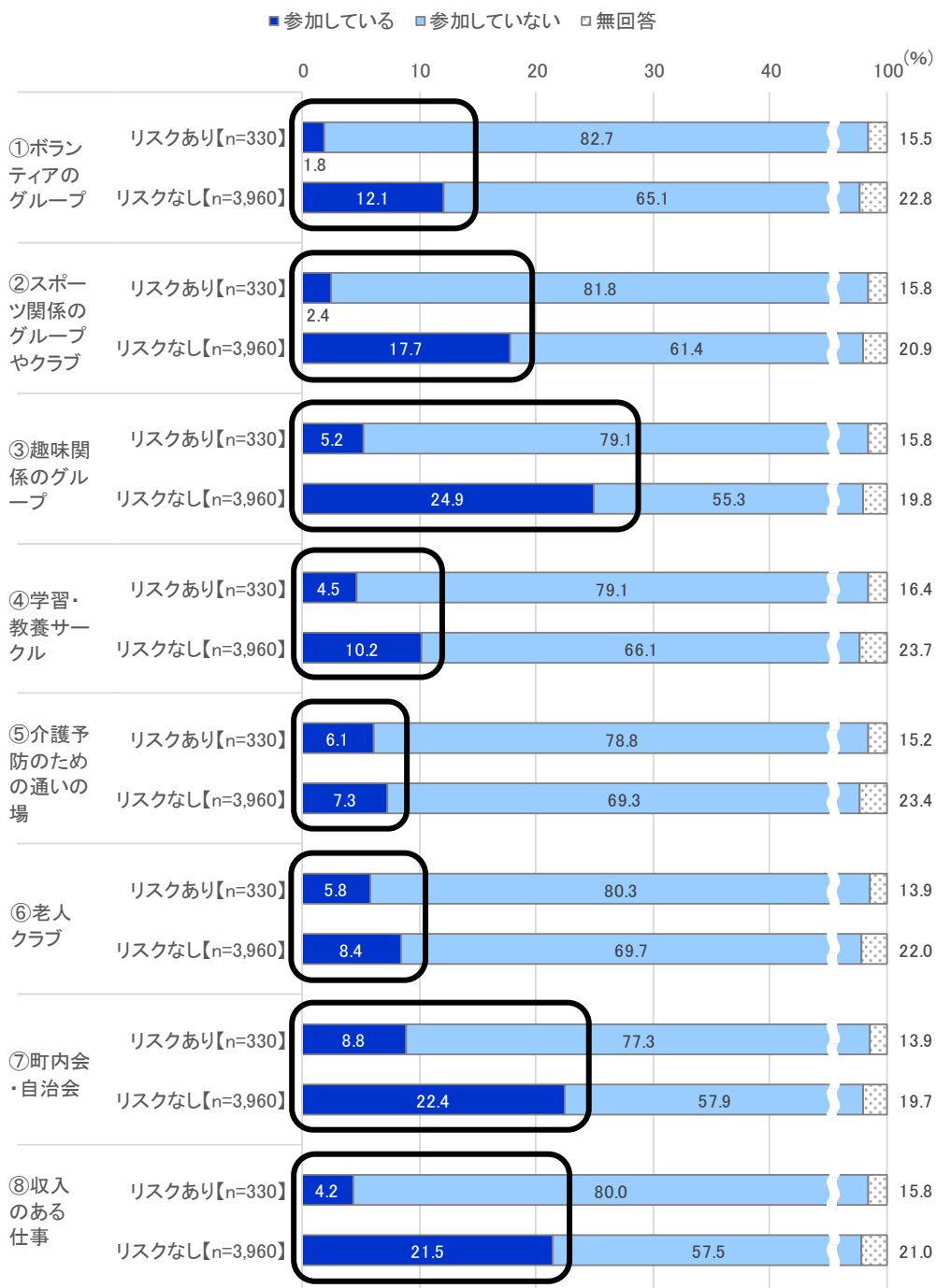
(1) 虚弱リスクの分析

虚弱リスクなしの群は、ありの群と比較し、①から⑧まで全ての地域活動において、「参加している」の割合が高くなっている。

特に、③趣味関係のグループについては、「参加している」の割合が、リスクなしの群で24.9%、リスクありの群で5.2%と、約20ポイントの差となっている。

趣味等の地域活動に参加している高齢者は、参加していない高齢者に比べて虚弱リスクが低くなる傾向がうかがえる。

このことから、虚弱リスクを減らすためには、地域活動に参加する機会を増やす必要がある。

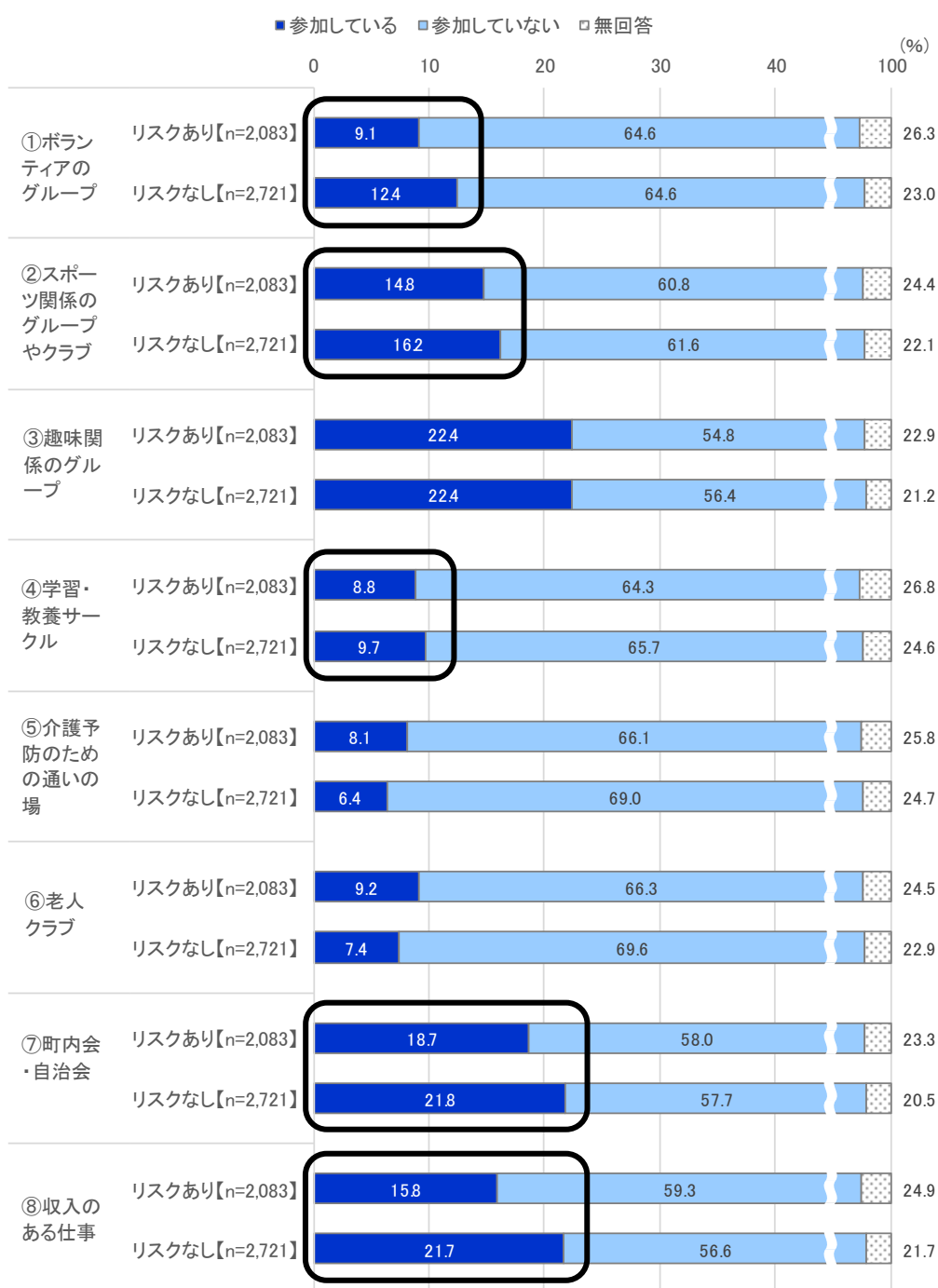


(2) 認知機能リスクの分析

認知機能リスクなしの群は、ありの群と比較し、①から⑧までのほとんどの地域活動において、「参加している」の割合が高くなっている。

地域活動に参加している高齢者は、参加していない高齢者に比べて認知機能リスクが低くなる傾向がうかがえるものの、虚弱リスクほどの差はみられない。

このことから、認知症リスクを減らすためには、地域活動に参加する機会を増やす必要がある。

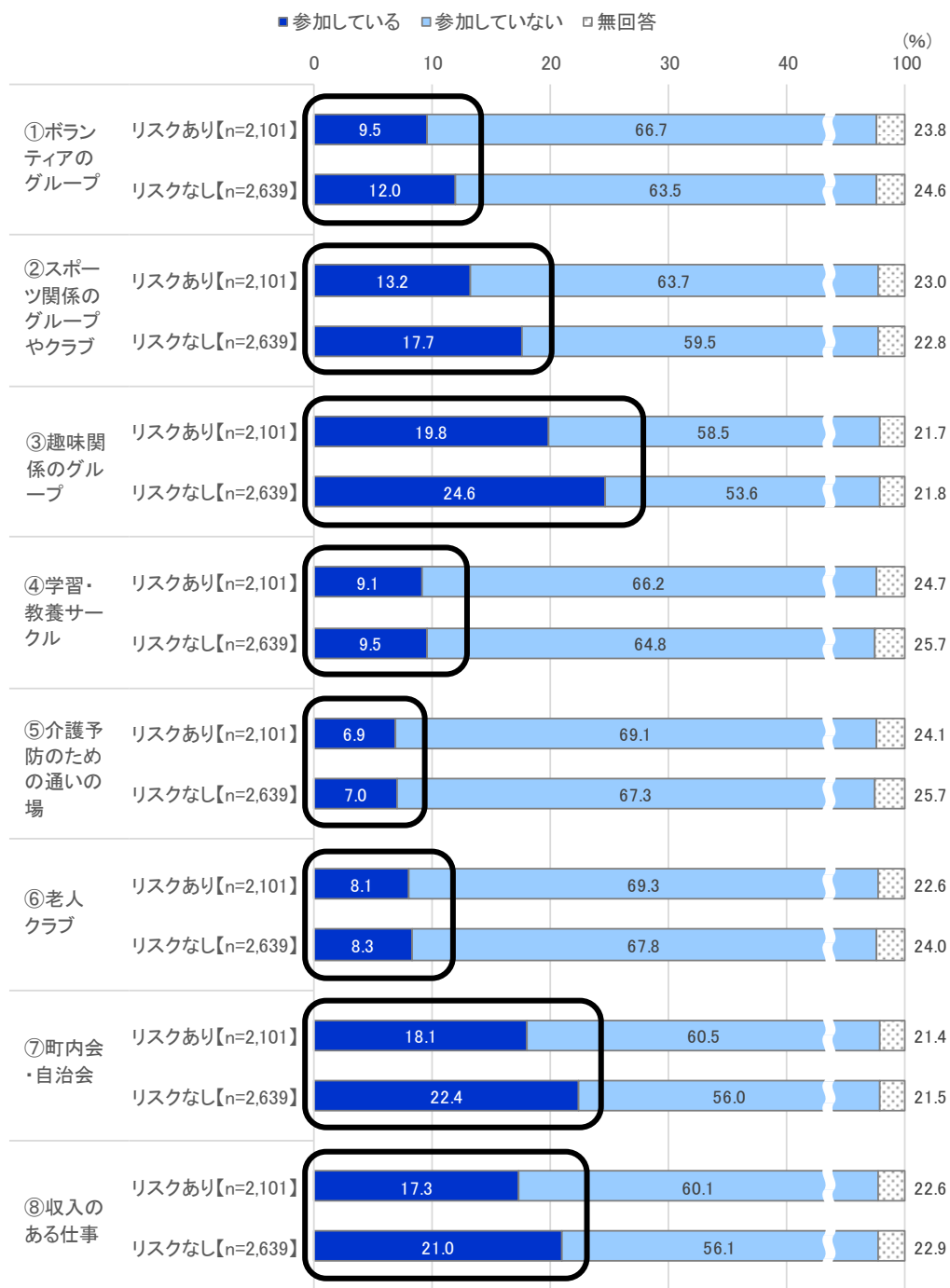


(3) うつリスクの分析

うつリスクなしの群は、ありの群と比較し、①から⑧まで全ての地域活動において、「参加している」の割合が高くなっている。

地域活動に参加している高齢者は、参加していない高齢者に比べてうつリスクが低くなる傾向がうかがえるものの、虚弱リスクほどの差はみられない。

このことから、うつリスクを減らすためには、地域活動に参加する機会を増やす必要がある。

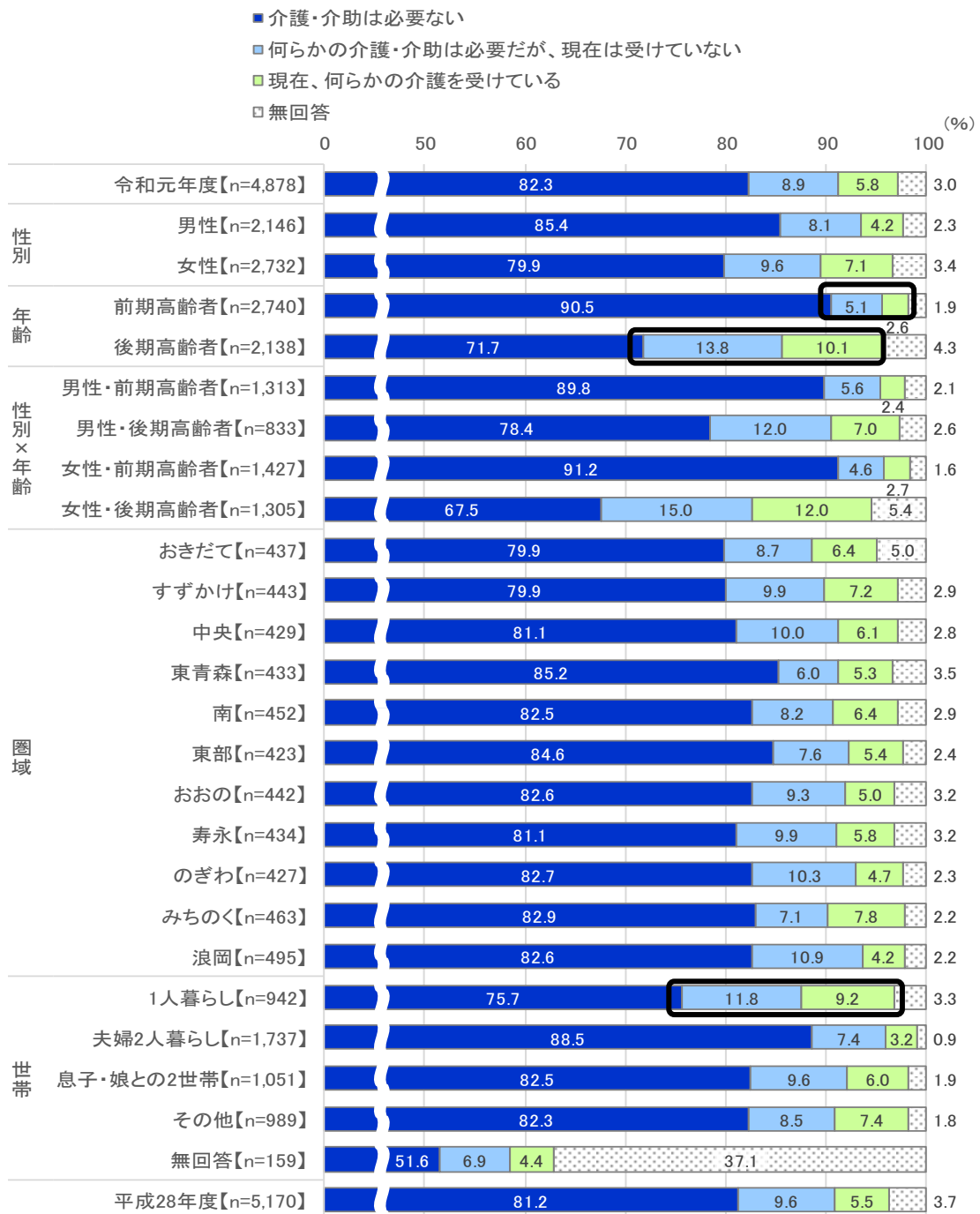


3 日常生活の介護・介助の必要性と主な原因

(1) 日常生活の介護・介助の必要性

普段の生活でどなたかの介護・介助が必要かについては、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」の割合を合わせた「介護・介助が必要」の割合は、年齢別では、後期高齢者が 23.9% (13.8%+10.1%) で、前期高齢者 7.8% (5.1%+2.6%) の 3 倍となっており、世帯別では、1 人暮らしが 21.0% (11.8%+9.2%) と最も高くなっている。

問 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか



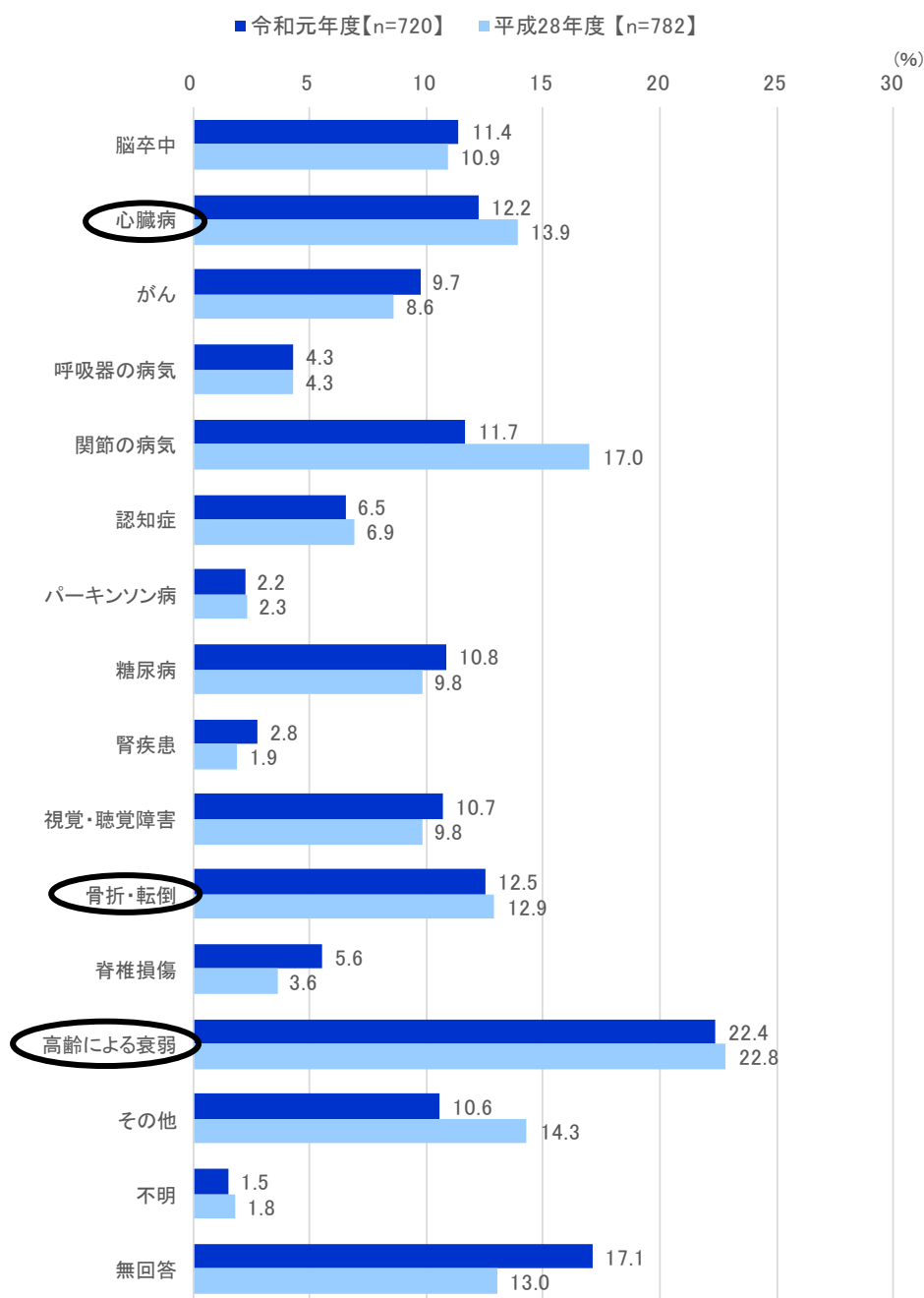
(2) 介護・介助が必要になった主な原因

(1) において「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在何らかの介護を受けている」と回答した方のうち、介護・介助が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」の割合が22.4%と最も高く、次いで「骨折・転倒」が12.5%、「心臓病」が12.2%となっている。

このことから、介護・介助が必要とならないよう、虚弱リスクを減らすための地域活動への参加、運動機能向上のための介護予防、フレイル（虚弱）の防止、生活習慣病等の疾病予防・重症化予防等について、効果的に取り組んでいく必要がある。

【(1)において「介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

問 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（複数回答）

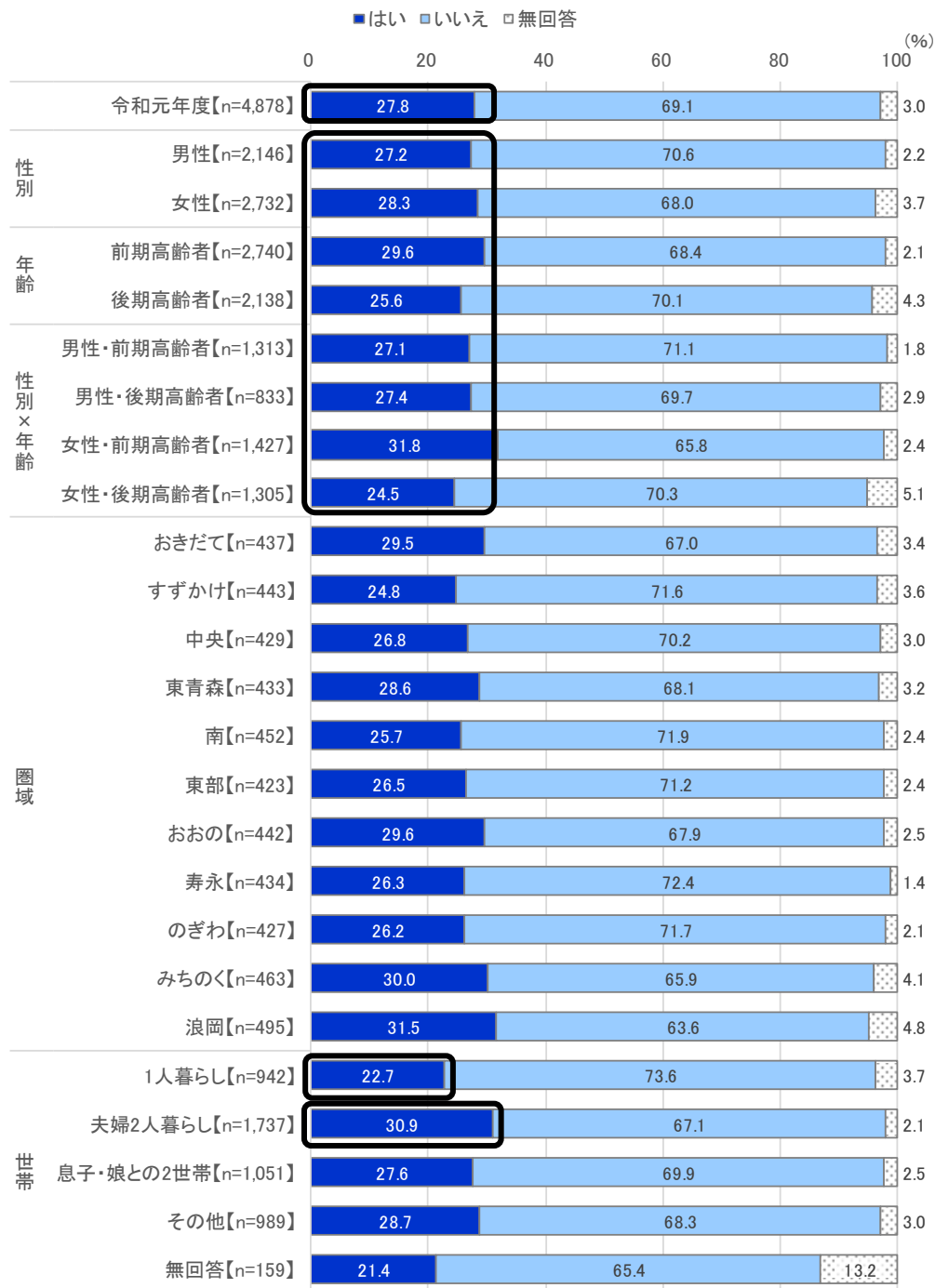


4 認知症の相談窓口

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」の割合が27.8%、「いいえ」の割合が69.1%となっている。

「はい」の割合は、性別、年齢ともに概ね同程度となっており、世帯では、夫婦2人暮らしが最も高く、1人暮らしが最も低くなっている。

問 認知症に関する相談窓口を知っていますか



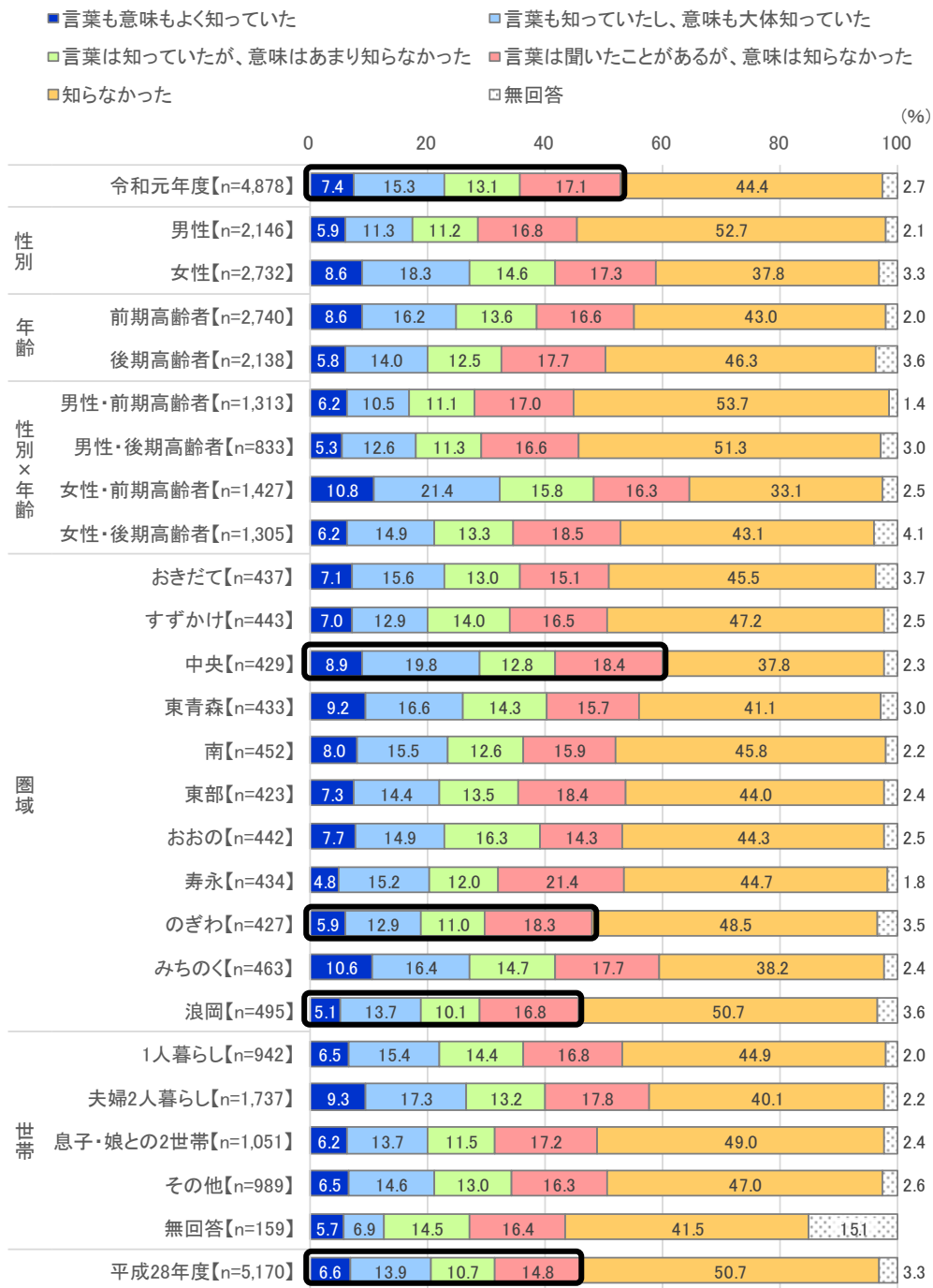
5 介護予防

(1) ロコモティブシンドロームの認識

ロコモティブシンドロームについて、「知っていた」の割合が22.7% (7.4%+15.3%)、
となっており、平成28年度20.5% (6.6%+13.9%) と比べてやや増加している。

「知っていた」の割合は、圏域では、中央が28.7% (8.9%+19.8%) と最も高く、の
ぎわ (5.9+12.9%) と浪岡 (5.1%+13.7%) が18.8%と最も低くなっている。

問 あなたは、ロコモティブシンドローム(略称：ロコモ)を知っていますか

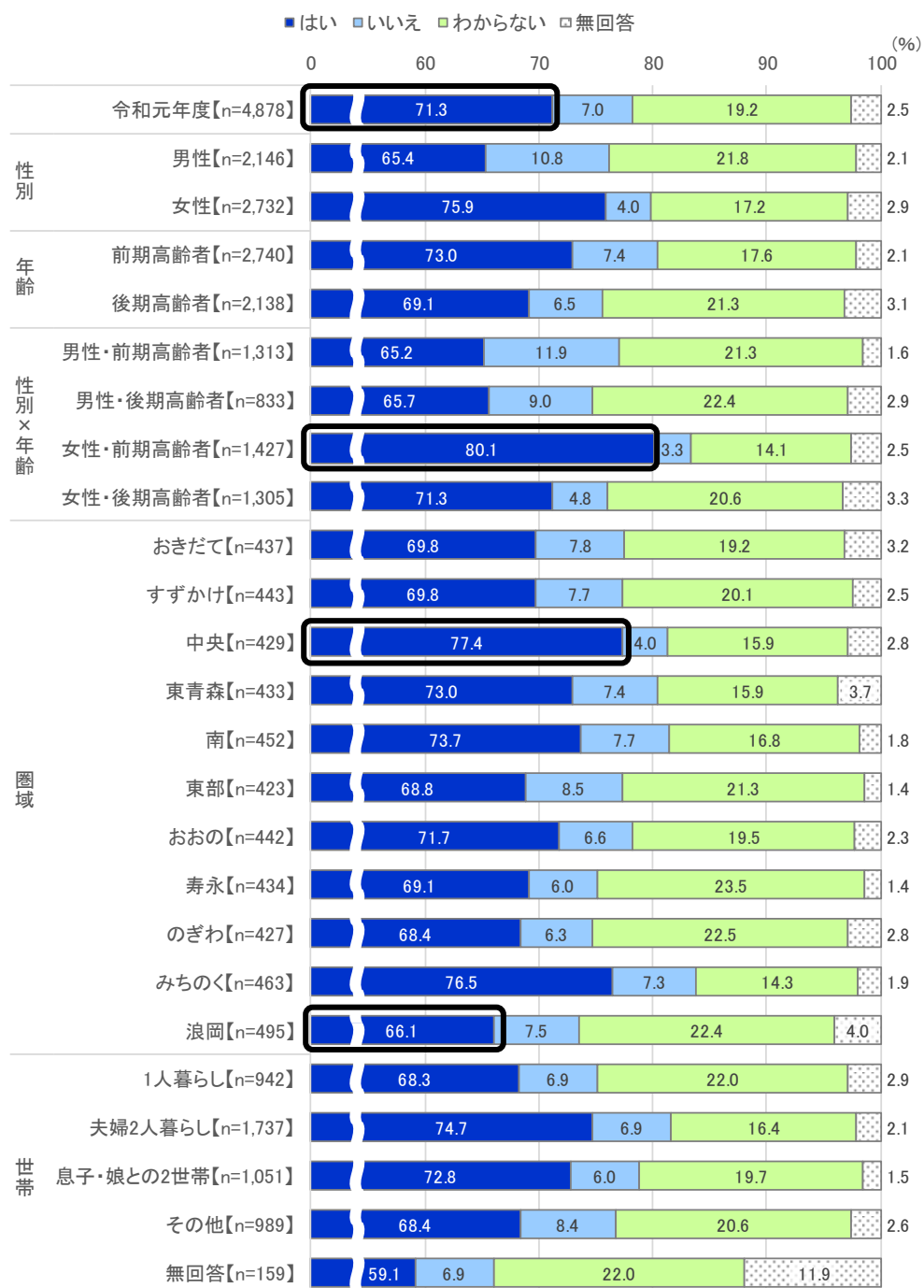


(2) 認知症予防への関心

認知症予防に関心があるかについては、「はい」の割合が71.3%で、「いいえ」の割合が7.0%となっている。

「はい」の割合は、性別・年齢では、女性・前期高齢者が80.1%と最も高くなっており、圏域では、中央が77.4%と最も高く、浪岡が66.1%と最も低くなっている。

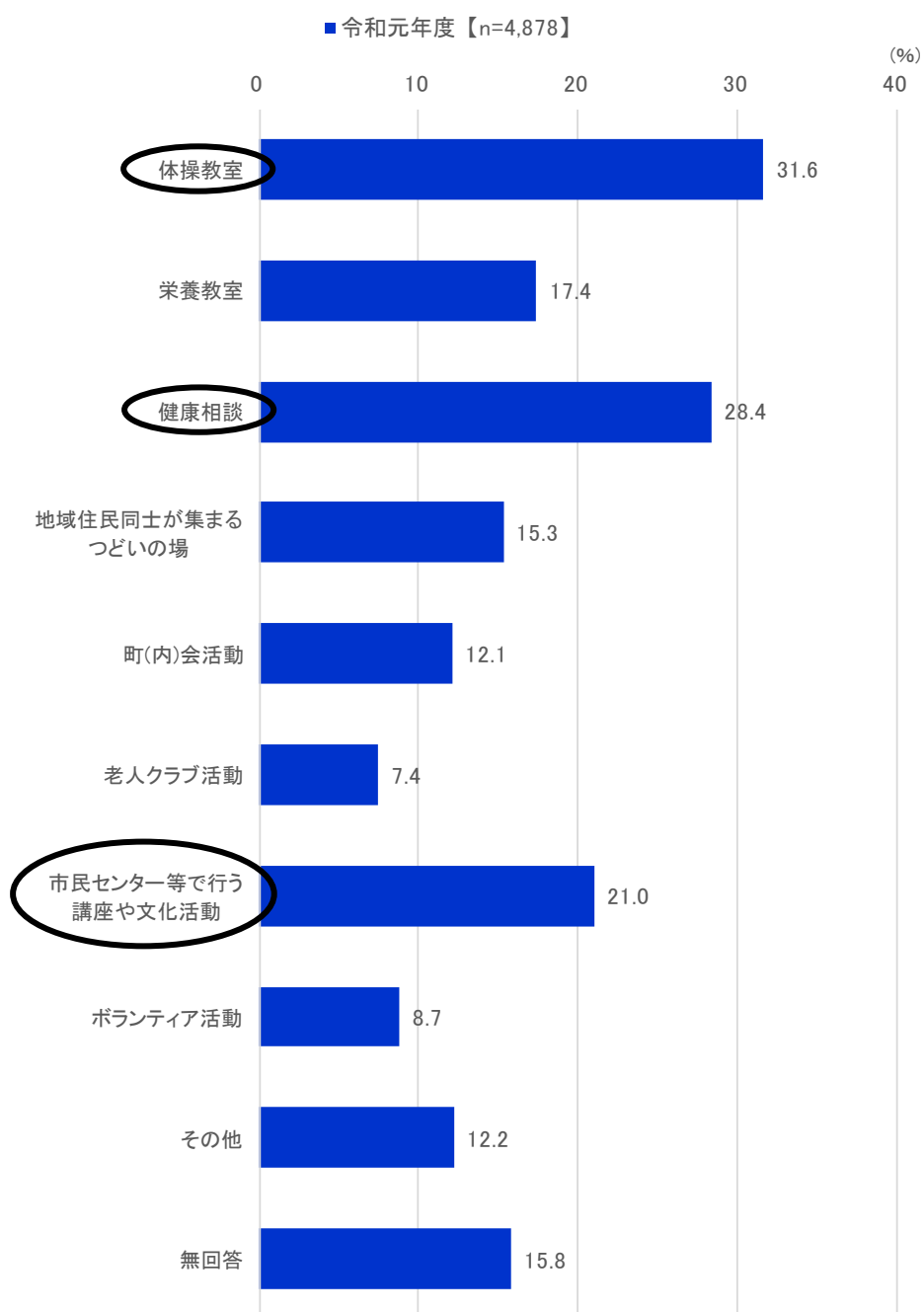
問 あなたは、認知症予防に関心がありますか



(3) 認知症予防活動への参加

認知症予防としてどのような取り組みに参加してみたいかについては、「体操教室」の割合が 31.6%と最も高く、次いで「健康相談」が 28.4%、「市民センター等で行う講座や文化活動」が 21.0%となっている。

問 認知症は、運動や社会参加等により活動的な生活を送ることがその予防につながると言われていますが、あなたは、認知症予防としてどのような取組に参加してみたいですか(複数回答)



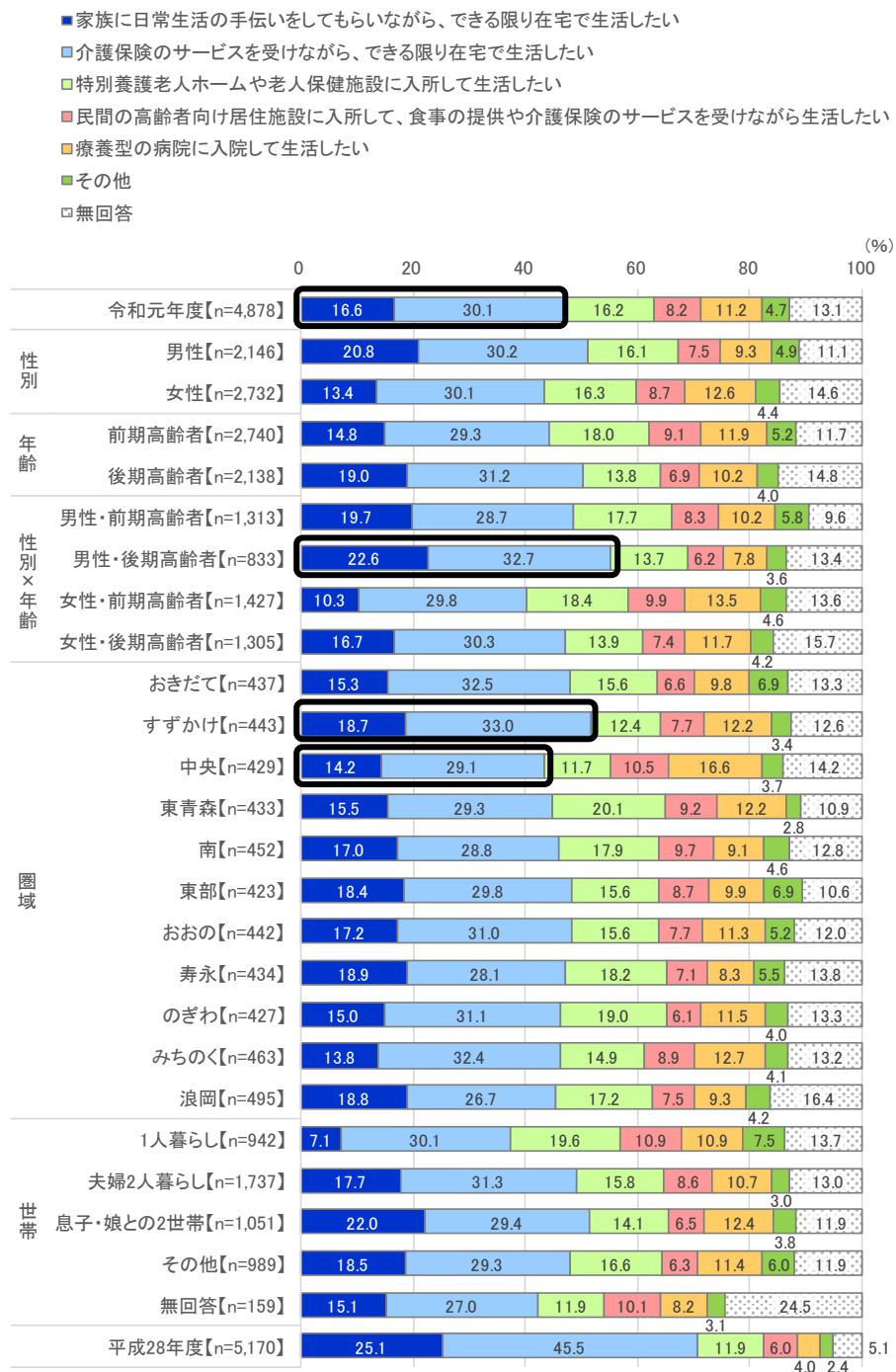
6 介護生活

(1) 介護生活に対する希望

認知症や寝たきりの状態になった場合の希望する生活については、「在宅で生活したい」の割合が46.7%（16.6%+30.1%）となっている。

「在宅で生活したい」の割合は、性別・年齢では、男性・後期高齢者が55.3%（22.6%+32.7%）と最も高くなっており、圏域では、すずかけが51.7%（18.7%+33.0%）と最も高く、中央が43.3%（14.2%+29.1%）と最も低くなっている。

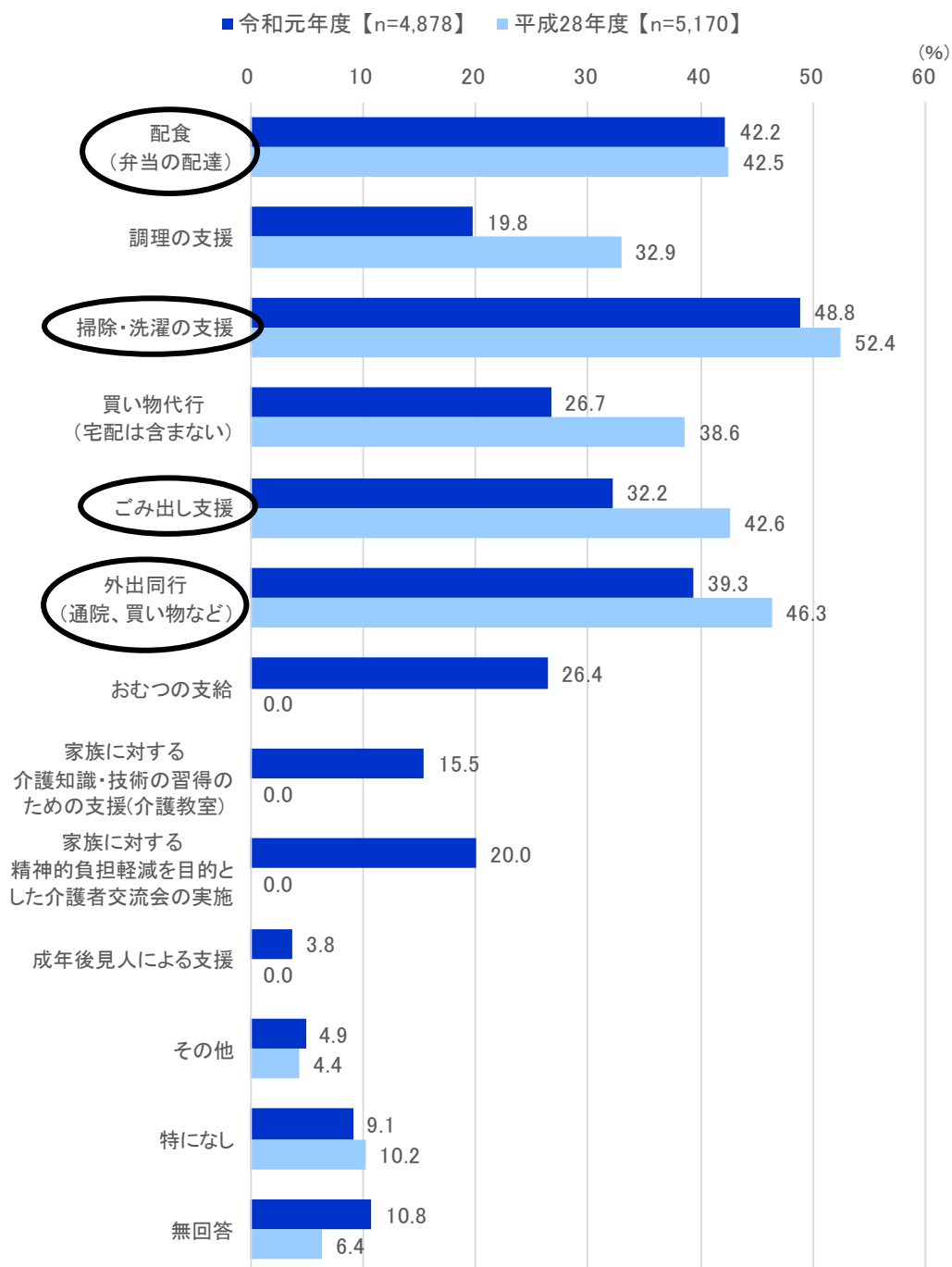
問 今後、もしあなたが認知症や寝たきりの状態になった場合、どのようにして自分らしい生活を続けたいですか



(2) 介護生活に必要な支援

認知症や寝たきりの状態になった場合、現在の住まいで生活するために必要と思われる支援については「掃除・洗濯の支援」の割合が48.8%と最も高く、次いで「配食」が42.2%、「外出同行」が39.3%、「ごみ出し支援」が32.2%となっている。

問 今後、もしあなたが認知症や寝たきりの状態になった場合、現在の住まいで生活するために、必要と思われる支援はどれですか（5つまで回答）



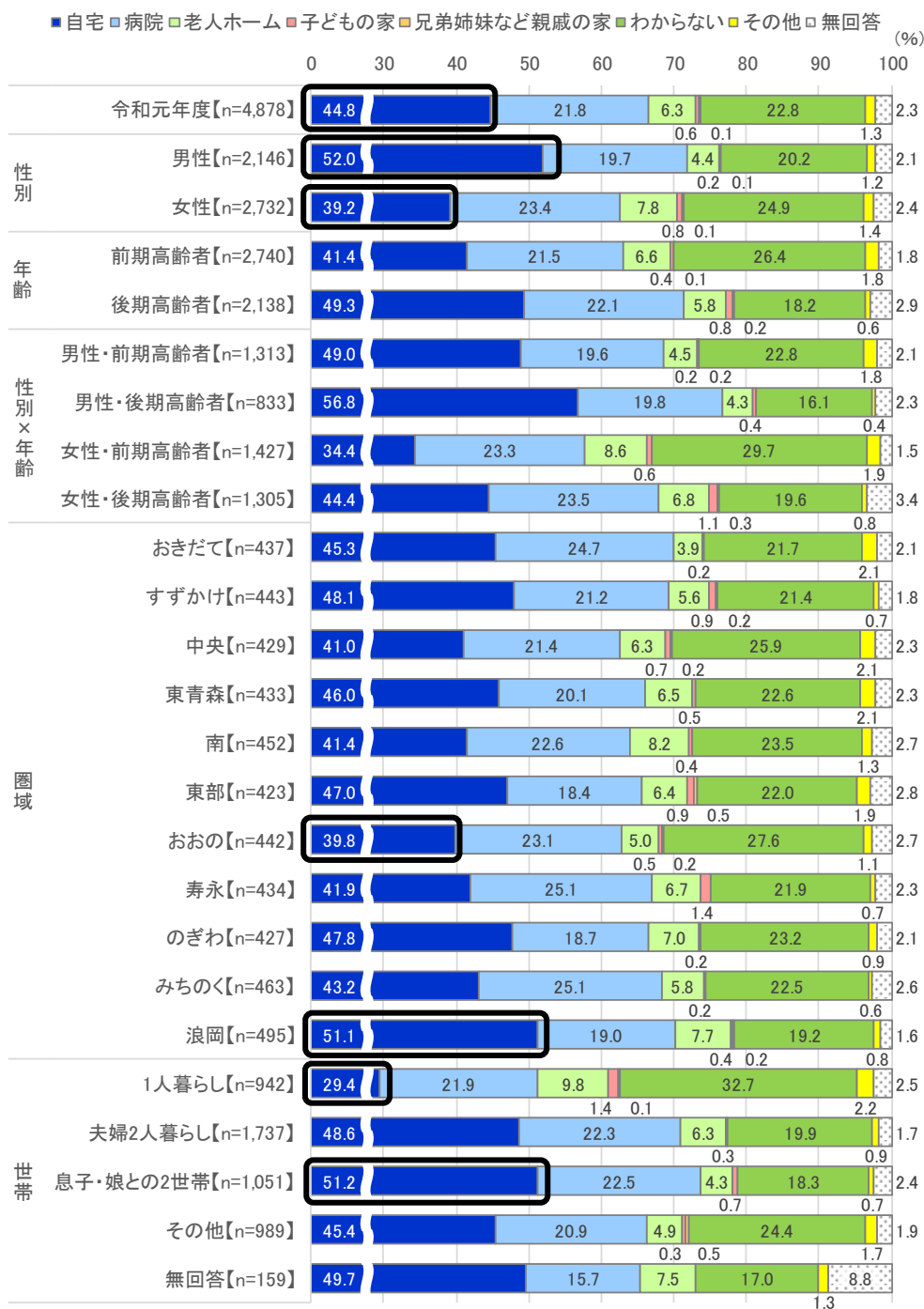
※令和元年度は選択回答数「5つまで」、平成28年度は選択回答数「いくつでも」となっている。

(3) 最期を迎えたいと思う場所

どこで最期を迎えたいと思うかについては、「自宅」の割合が44.8%と最も高く、次いで「わからない」が22.8%、「病院」が21.8%となっている。

「自宅」の割合は、性別・年齢では、男性・後期高齢者が56.8%と最も高くなっており、圏域では、浪岡が51.1%と最も高く、おおのが39.8%と最も低くなっている。

問 あなたは、どこで最期を迎えたいと思いますか

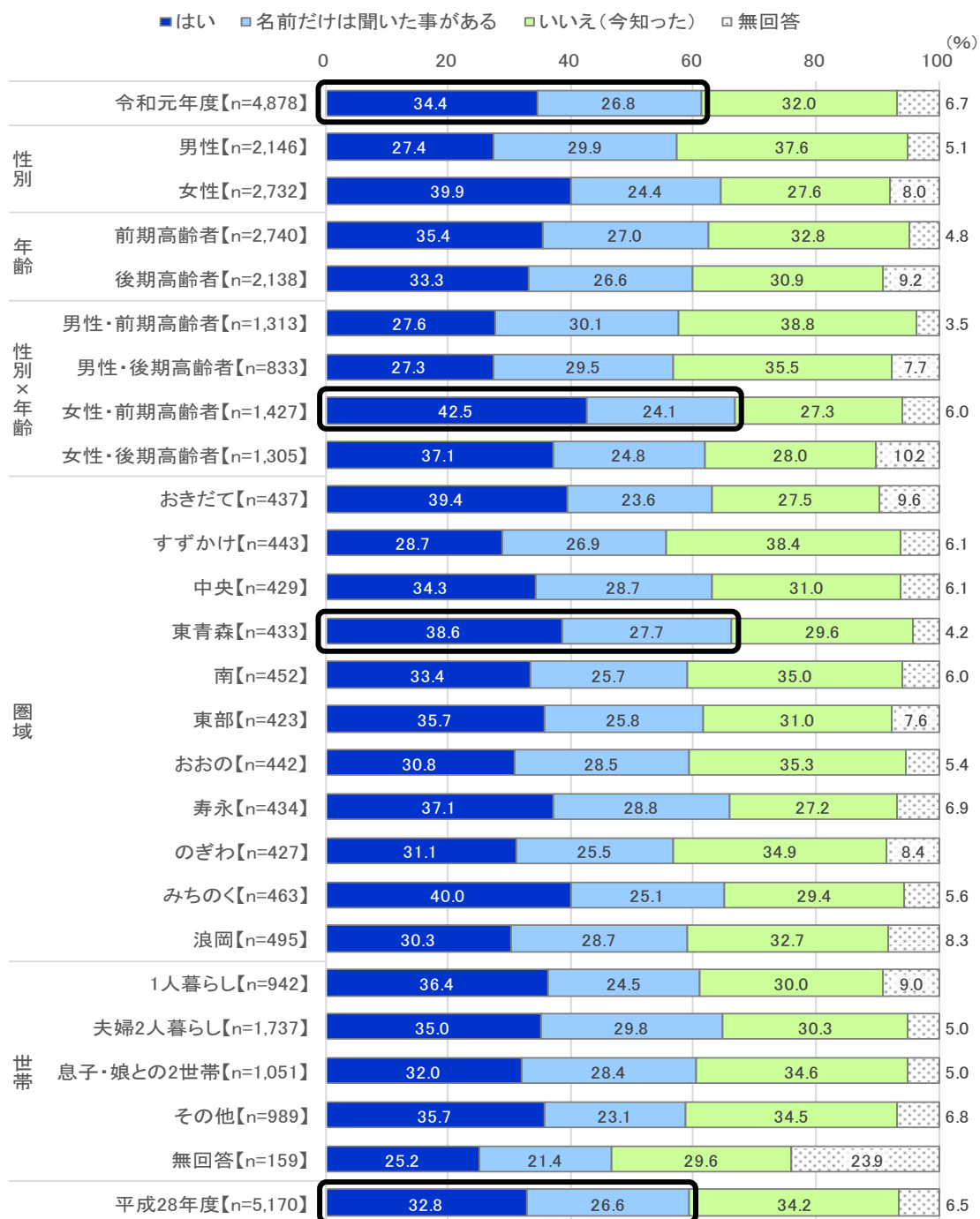


7 地域包括支援センター

地域包括支援センターを知っているかについては、「はい」の割合が34.4%となっており、平成28年度32.8%と比べてやや増加している。

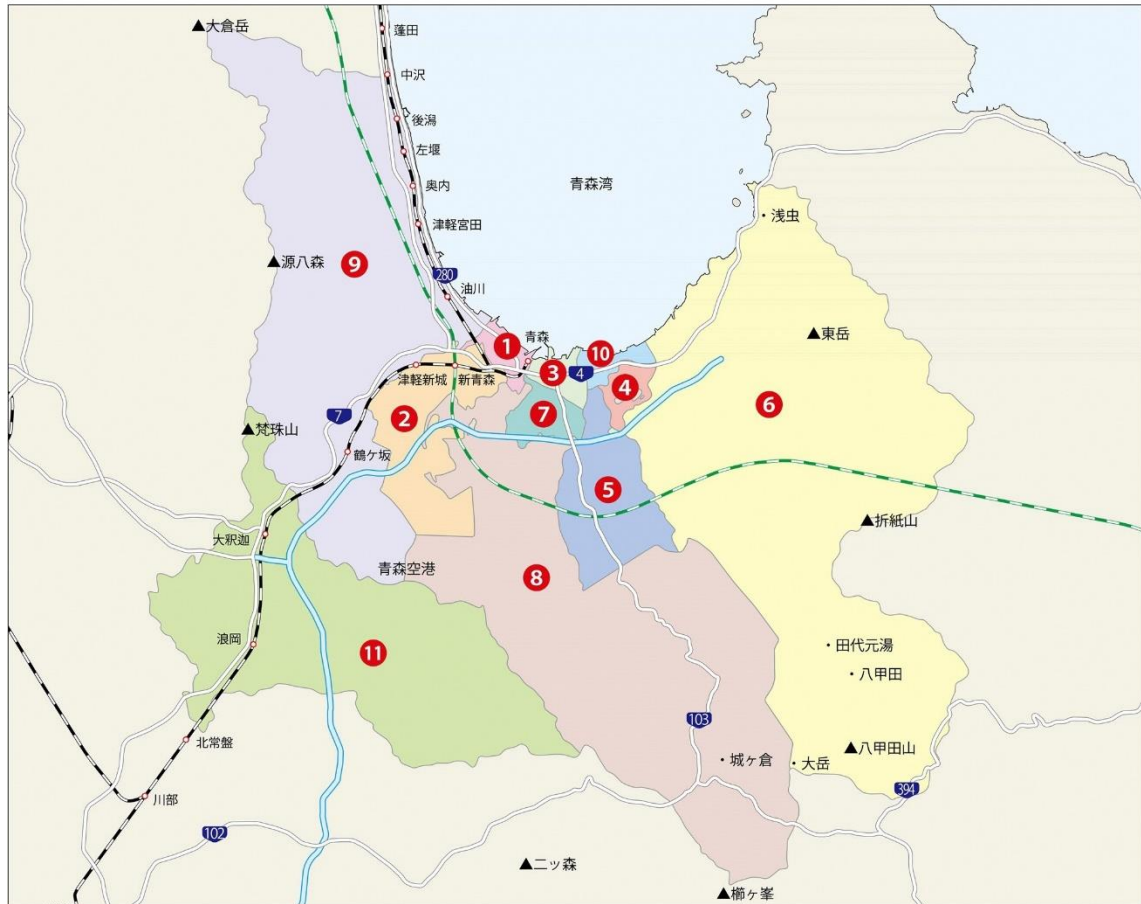
「はい」の割合は、性別・年齢では、女性・前期高齢者が42.5%と最も高くなっており、圏域では、みちのくが40.0%と最も高く、すずかけが28.7%と最も低くなっている。

問 地域の高齢者相談の窓口である「地域包括支援センター」を知っていますか



8 日常生活圏域の状況

青森市における日常生活圏の設定



名称	圏域内住所
① 地域包括支援センターおきだて	沖館、久須志、篠田、千刈、千富町1丁目、富田、新田、柳川
② 地域包括支援センターすずかけ	石江、岩渡、里見、三内、新城平岡、西滝、三好
③ 中央包括支援センター	青柳、奥野、勝田、新町、中央、堤町、長島、橋本、古川、本町、松原、安方
④ 東青森地域包括支援センター	岡造道、けやき、小柳、自由ヶ丘、佃2・3丁目、中佃、虹ヶ丘、浜館1～6丁目、はまなす、古館、松森2・3丁目、南佃
⑤ 南地域包括支援センター	大矢沢、卸町、合子沢、幸畑、桜川2～9丁目、新町野、田茂木野、筒井、問屋町、野尻、妙見、雲谷、横内、四ツ石
⑥ 東部地域包括支援センター	赤坂、浅虫、泉野、後落、久栗坂、桑原、駒込、沢山、三本木、諏訪沢、平新田、滝沢、田屋敷、築木館、月見野、戸崎、戸山、野内、浜館、原別、蛭沢、馬屋尻、宮田、本泉、矢作、矢田、矢田前、八幡林
⑦ おおの地域包括支援センター	青葉、旭町、浦町、大野、桂木、金沢1・3・4丁目、北金沢1丁目、西大野、浜田、東大野、緑
⑧ 地域包括支援センター寿永	荒川、牛館、上野、大谷、大別内、金沢2・5丁目、金浜、北金沢2丁目、小館、千富町2丁目、第二問屋町、高田、浪館、浪館前田、入内、小畑沢、野木、野沢、細越、安田、八ツ役
⑨ 地域包括支援センターのぎわ	飛鳥、油川、後湯、内真部、岡町、奥内、小橋、四戸橋、清水、新城天田内・福田・山田、瀬戸子、鶴ヶ坂、戸門、西田沢、羽白、左堰、前田、孫内、六枚橋
⑩ 地域包括支援センターみちのく	合浦、栄町、桜川1丁目、茶屋町、佃1丁目、造道、浪打、花園、東造道、松森1丁目、港町、八重田
⑪ 地域包括支援センター浪岡	相沢、王余魚沢、北中野、吉内、郷山前、五本松、下石川、下十川、銀、杉沢、大釈迦、高屋敷、樽沢、徳才子、長沼、浪岡、浪岡福田、細野、本郷、増館、女鹿沢、吉野田

(1) おきだて

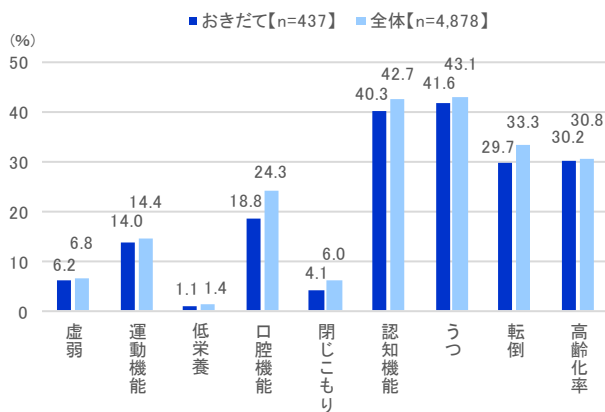
リスク該当者割合・高齢化率については、「うつ」の割合が41.6%と最も高く、次いで「認知機能」が40.3%、「転倒」が29.7%となっている。全体（市の平均）と比べると、すべてのリスクにおいて全体よりも低くなっており、特に、「口腔機能」及び「転倒」の割合が低くなっている。

世帯類型については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が26.3%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が24.3%となっている。

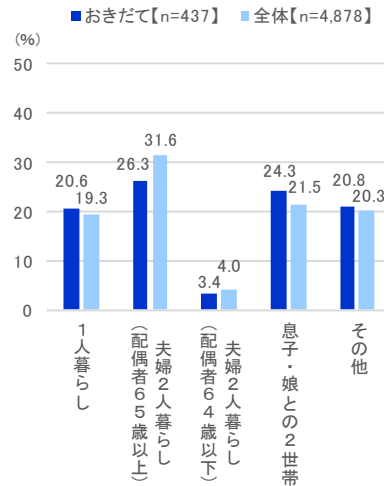
介護生活に必要な支援については、「掃除・洗濯」の割合が47.4%と最も高く、次いで「配食」が41.2%、「外出同行」が38.9%、「ごみ出し」が30.0%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が45.3%と最も高く、次いで「筋骨格」が19.0%、「心臓病」が13.7%となっている。

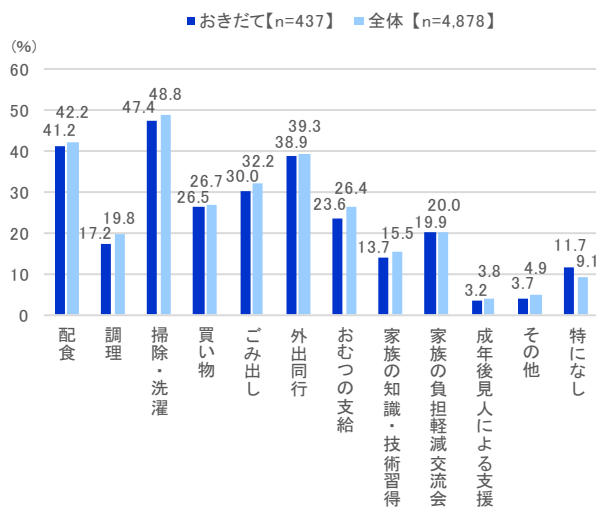
リスク該当者割合・高齢化率



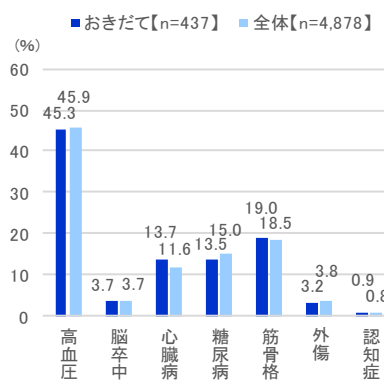
世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合



(2) すずかけ

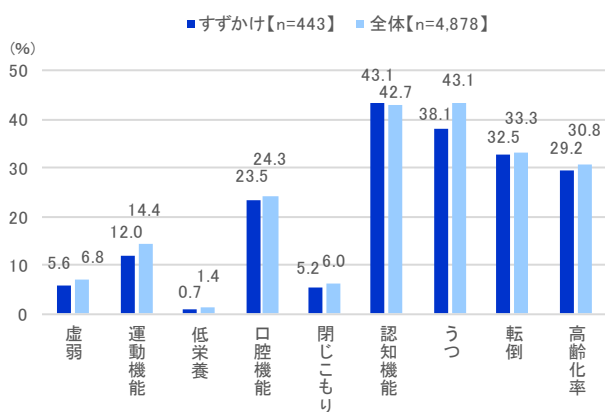
リスク該当者割合・高齢化率については、「認知機能」の割合が43.1%と最も高く、次いで「うつ」が38.1%、「転倒」が32.5%となっている。全体（市の平均）と比べると、「うつ」の割合が全体よりも低くなっており、それ以外のリスクは概ね全体と同程度の割合となっている。

世帯類型については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が34.3%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が19.9%となっている。

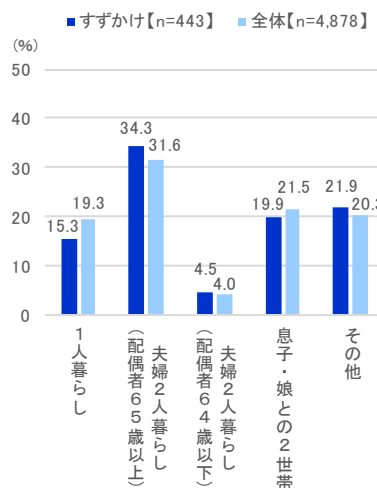
介護生活に必要な支援については、「掃除・洗濯」の割合が47.6%と最も高く、次いで「配食」が45.6%、「外出同行」が40.6%、「ごみ出し」が33.4%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が45.1%と最も高く、次いで「筋骨格」が21.0%、「糖尿病」が14.9%となっている。

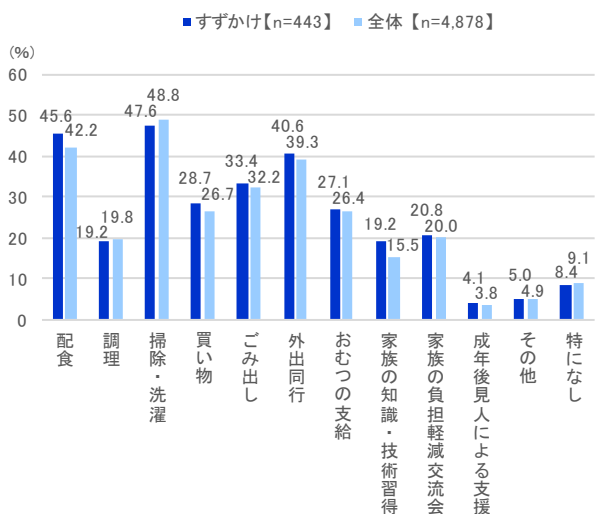
リスク該当者割合・高齢化率



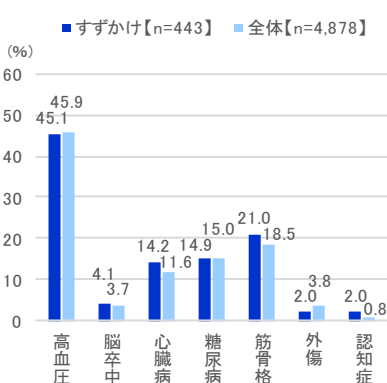
世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合



(3) 中央

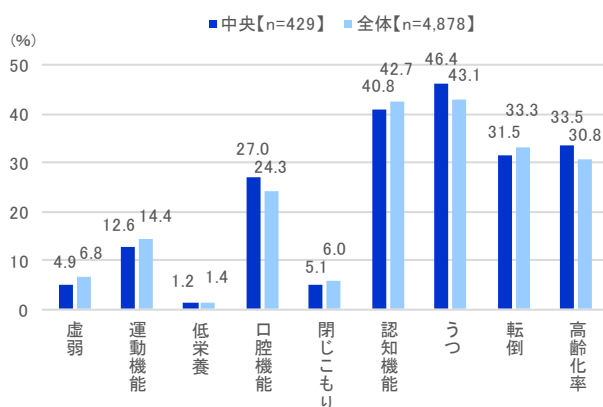
リスク該当者割合・高齢化率については、「うつ」の割合が46.4%と最も高く、次いで「認知機能」が40.8%、「転倒」が31.5%となっている。全体（市の平均）と比べると、「うつ」及び「口腔機能」の割合が全体よりも高くなっており、これら以外のリスクは全体よりも低くなっている。

世帯類型については、「1人暮らし」の割合が29.1%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が28.0%となっている。全体と比べると「1人暮らし」の割合が高くなっている。

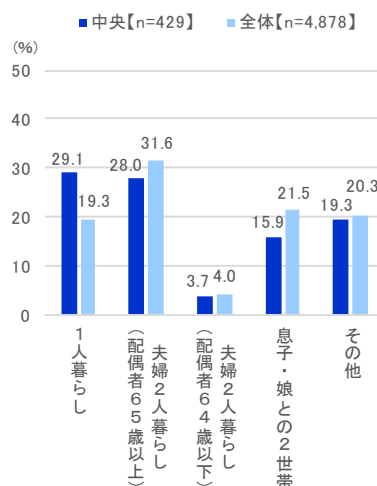
介護生活に必要な支援については、「掃除・洗濯」の割合が54.5%と最も高く、次いで「配食」が48.0%、「外出同行」が39.9%、「ごみ出し」が35.7%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が49.9%と最も高く、次いで「筋骨格」が19.8%、「糖尿病」が14.5%となっている。

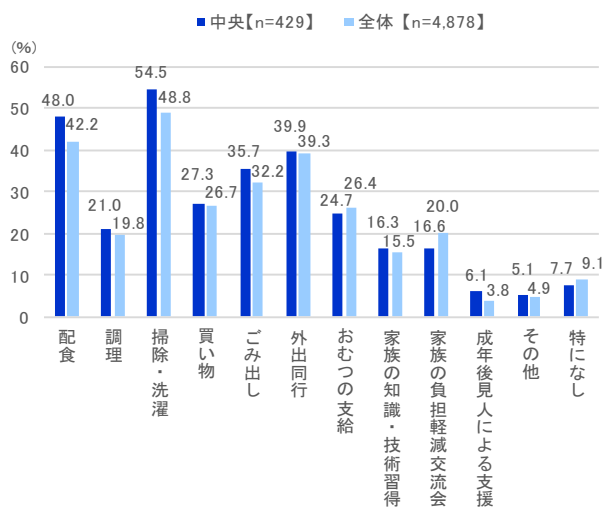
リスク該当者割合・高齢化率



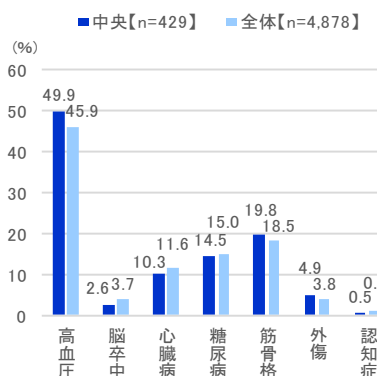
世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合



(4) 東青森

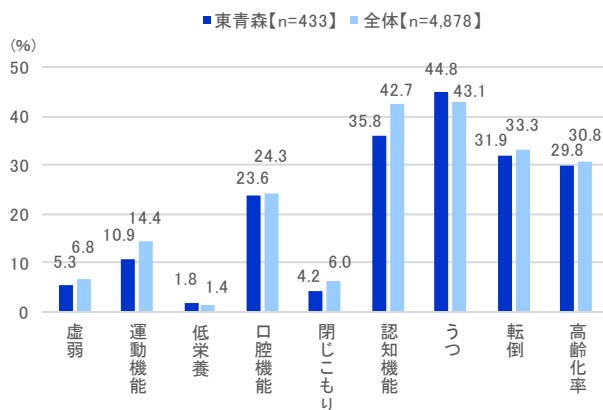
リスク該当者割合・高齢化率については、「うつ」の割合が44.8%と最も高く、次いで「認知機能」が35.8%、「転倒」が31.9%と高くなっている。全体（市の平均）と比べると、「認知機能」及び「運動機能」の割合が全体よりも低くなっており、これら以外のリスクは概ね全体と同程度の割合となっている。

世帯類型については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が34.2%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が18.9%となっている。

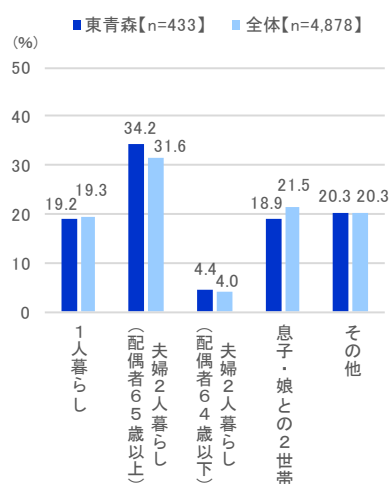
介護生活に必要な支援については、「掃除・洗濯」の割合が51.5%と最も高く、次いで「配食」が45.5%、「外出同行」が39.7%、「ごみ出し」が34.6%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が43.0%と最も高く、次いで「筋骨格」が18.9%、「糖尿病」が13.2%となっている。

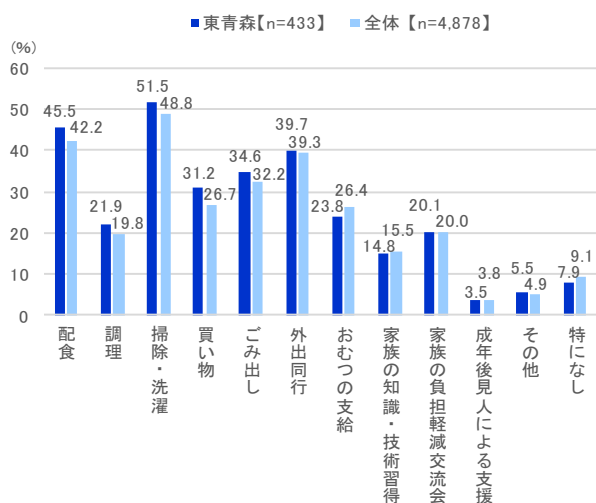
リスク該当者割合・高齢化率



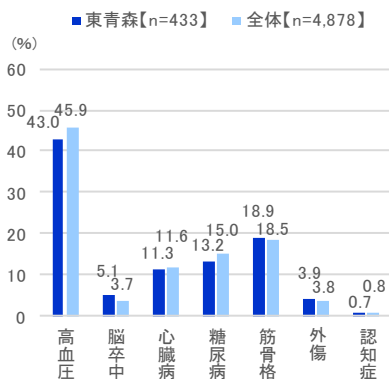
世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合



(5) 南

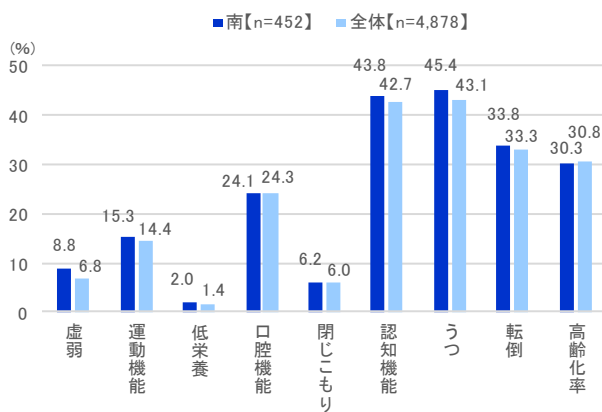
リスク該当者割合・高齢化率については、「うつ」の割合が45.4%と最も高く、次いで「認知機能」が43.8%、「転倒」が33.8%となっている。全体（市の平均）と比べると、「口腔機能」以外のリスクは全体よりもやや高くなっている。

世帯類型については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が32.7%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が23.2%となっている。

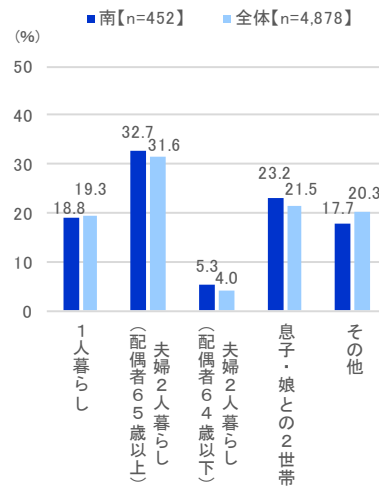
介護生活に必要な支援については、「掃除・洗濯」の割合が51.5%と最も高く、次いで「配食」が45.1%、「外出同行」が40.7%、「ごみ出し」が34.7%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が45.1%と最も高く、次いで「筋骨格」が18.8%、「糖尿病」が16.8%となっている。

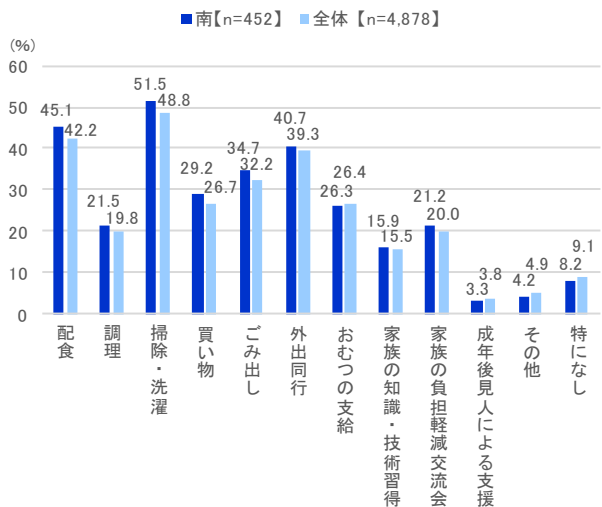
リスク該当者割合・高齢化率



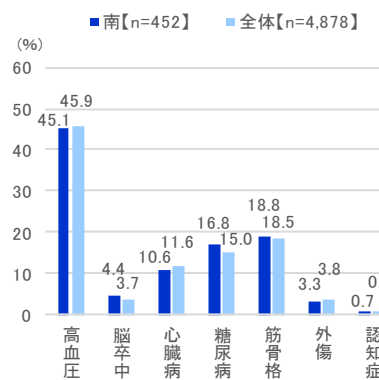
世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合



(6) 東部

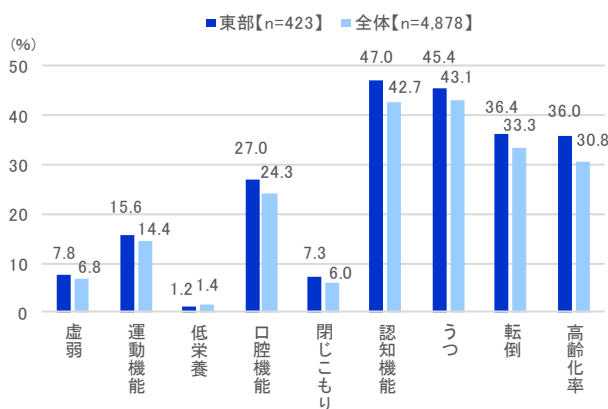
リスク該当者割合・高齢化率については、「認知機能」の割合が47.0%と最も高く、次いで「うつ」が45.4%、「転倒」が36.4%となっている。全体（市の平均）と比べると、「低栄養」以外のリスクは全体よりも高くなっており、特に、「認知機能」及び「転倒」の割合が高くなっている。

世帯類型については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が38.8%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が18.2%となっている。全体と比べると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が高くなっている。

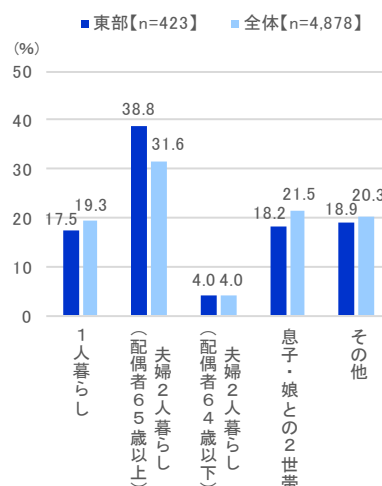
介護生活に必要な支援については、「掃除・洗濯」の割合が51.3%と最も高く、次いで「配食」が42.1%、「外出同行」が38.8%、「ごみ出し」が35.5%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が48.2%と最も高く、次いで「糖尿病」が18.4%、「筋骨格」が16.1%となっている。

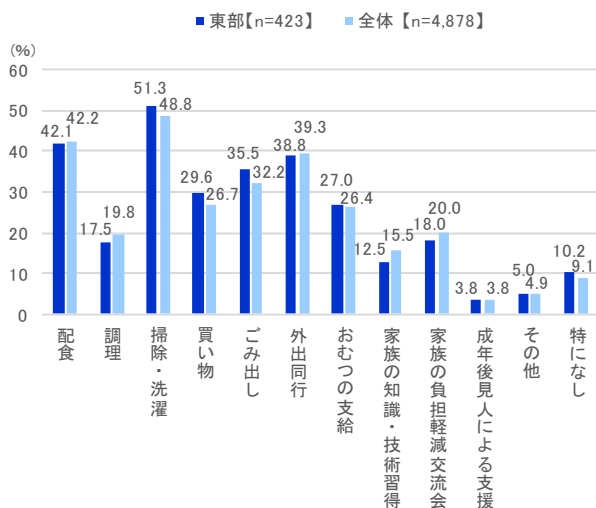
リスク該当者割合・高齢化率



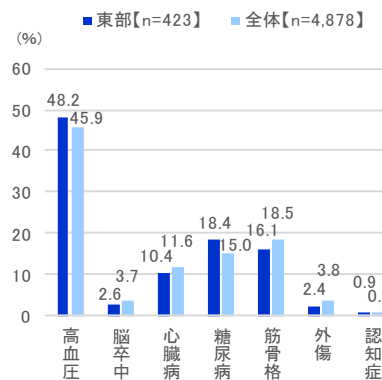
世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合



(7) おおの

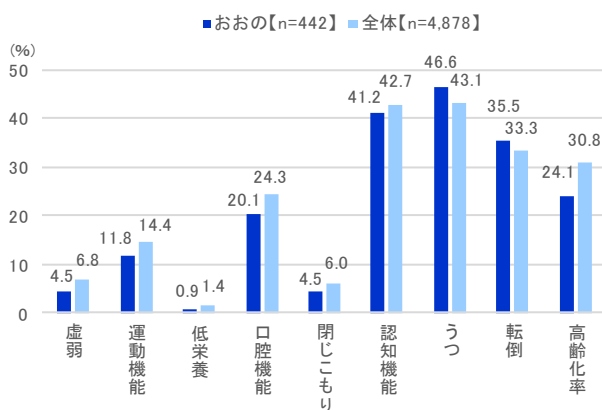
リスク該当者割合・高齢化率については、「うつ」の割合が46.6%と最も高く、次いで「認知機能」が41.2%、「転倒」が35.5%となっている。全体（市の平均）と比べると、「うつ」の割合が全体よりも高く、「口腔機能」が低くなっており、これら以外のリスクは概ね全体と同程度の割合となっている。

世帯類型については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が33.5%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が20.4%となっている。

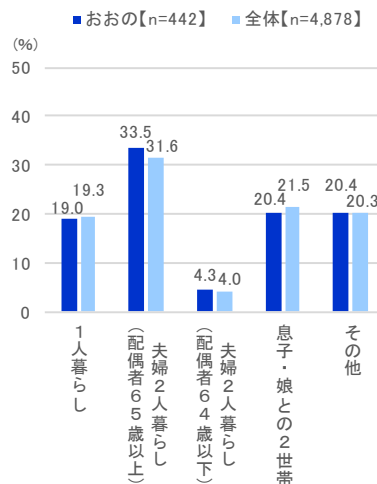
介護生活に必要な支援については、「掃除・洗濯」の割合が49.3%と最も高く、次いで「配食」が39.8%、「外出同行」が38.2%、「ごみ出し」が32.6%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が44.6%と最も高く、次いで「糖尿病」が16.7%、「筋骨格」が16.1%となっている。

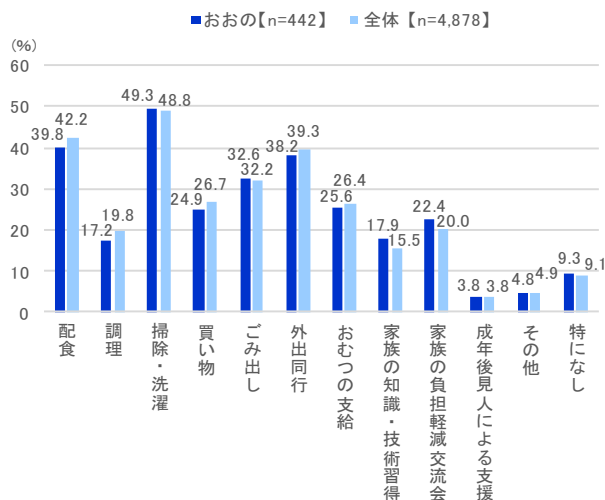
リスク該当者割合・高齢化率



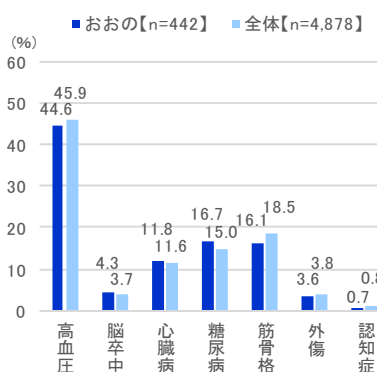
世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合



(8) 寿永

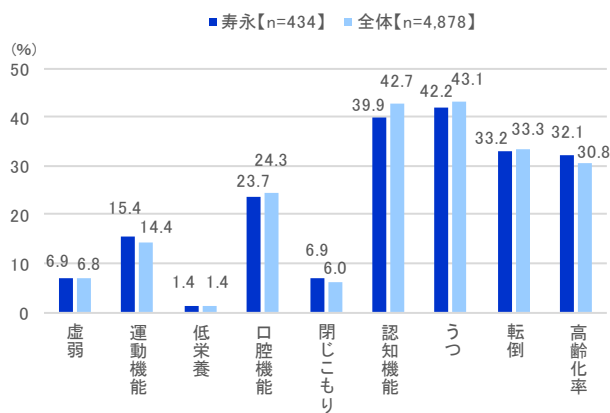
リスク該当者割合・高齢化率については、「うつ」の割合が42.2%と最も高く、次いで「認知機能」が39.9%、「転倒」が33.2%となっている。全体（市の平均）と比べると、すべてのリスクにおいて概ね全体と同程度の割合となっている。

世帯類型については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が34.1%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が22.6%となっている。

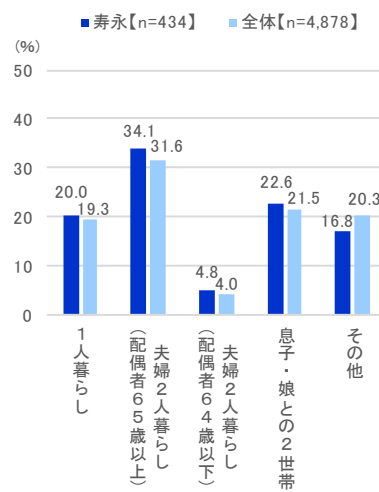
介護生活に必要な支援については、「掃除・洗濯」の割合が46.8%と最も高く、次いで「配食」が40.1%、「外出同行」が39.9%、「ごみ出し」が31.1%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が45.9%と最も高く、次いで「筋骨格」が18.9%、「糖尿病」が15.2%となっている。

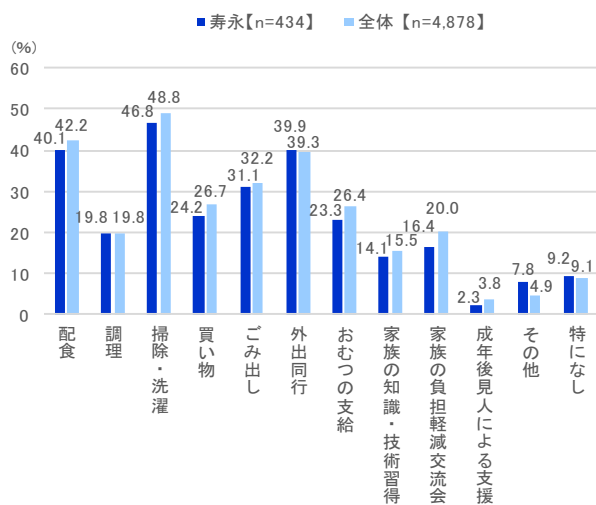
リスク該当者割合・高齢化率



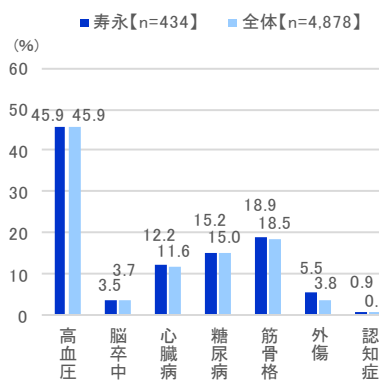
世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合



(9) のぎわ

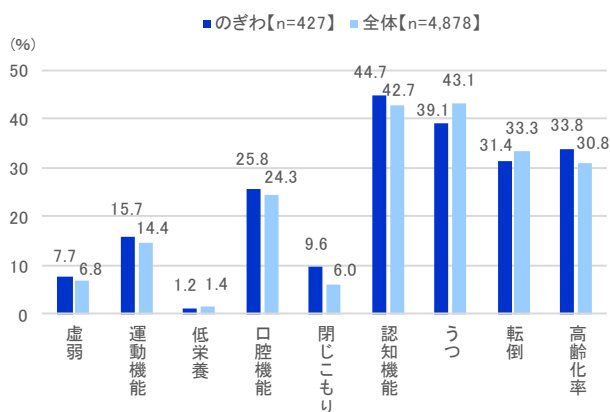
リスク該当者割合・高齢化率については、「認知機能」の割合が44.7%と最も高く、次いで「うつ」が39.1%、「転倒」が31.4%となっている。全体（市の平均）と比べると、「低栄養」「うつ」「転倒」以外のリスクは全体よりも高くなっており、特に、「閉じこもり」の割合が高くなっている。

世帯類型については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が28.1%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が25.5%となっている。

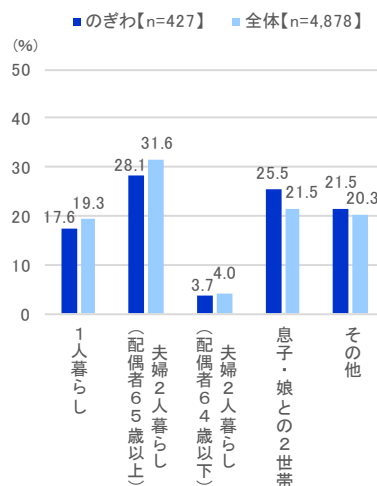
介護生活に必要な支援については、「掃除・洗濯」の割合が45.4%と最も高く、次いで「配食」が38.9%、「外出同行」が37.0%、「おむつの支給」が31.9%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が45.7%と最も高く、次いで「筋骨格」が18.0%、「糖尿病」が16.2%となっている。

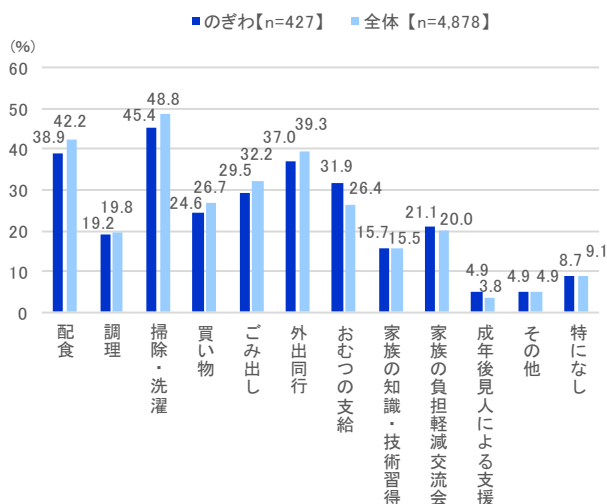
リスク該当者割合・高齢化率



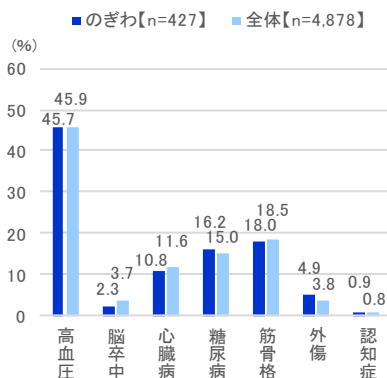
世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合



(10) みちのく

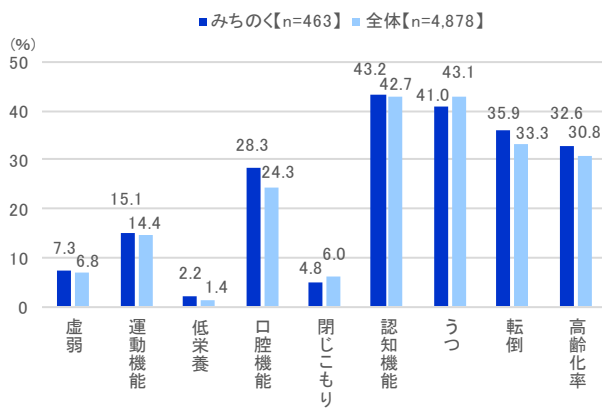
リスク該当者割合・高齢化率については、「認知機能」の割合が43.2%と最も高く、次いで「うつ」が41.0%、「転倒」が35.9%となっている。全体（市の平均）と比べると、「閉じこもり」「うつ」以外のリスクは全体よりも高くなっており、特に、「口腔機能」の割合が高くなっている。

世帯類型については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が31.7%と最も高く、次いで「1人暮らし」が22.0%となっている。

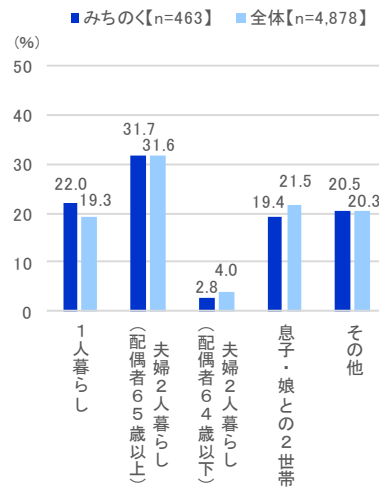
介護生活に必要な支援については、「掃除・洗濯」の割合が52.1%と最も高く、次いで「配食」が43.0%、「外出同行」が40.0%、「ごみ出し」が35.0%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が44.9%と最も高く、次いで「筋骨格」が21.0%、「糖尿病」が13.6%となっている。

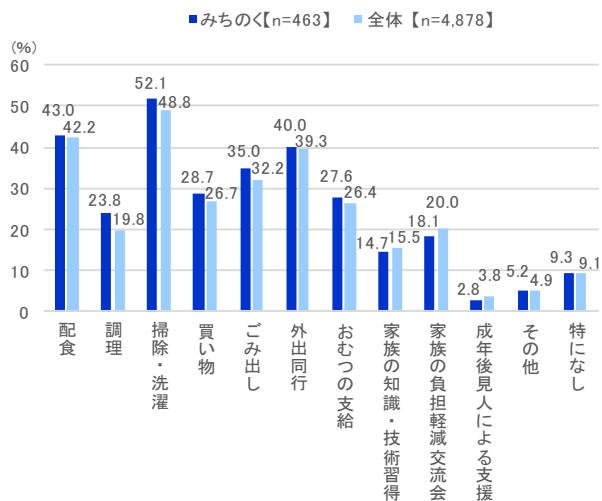
リスク該当者割合・高齢化率



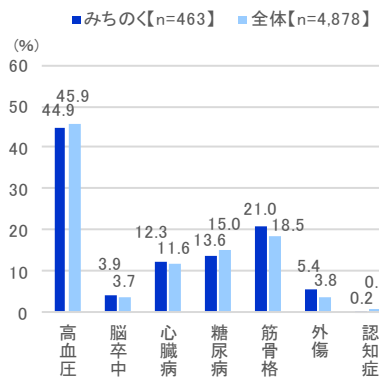
世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合



(11) 浪岡

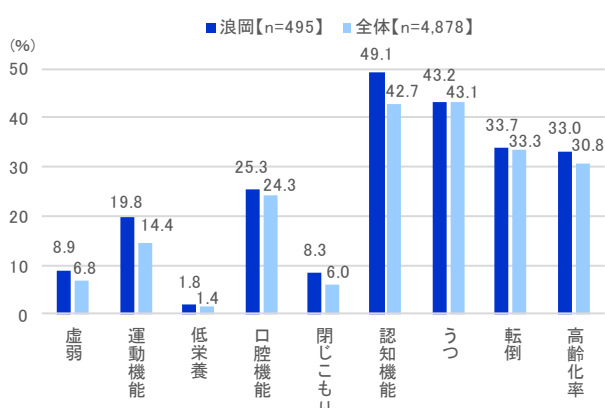
リスク該当者割合・高齢化率については、「認知機能」49.1%が最も高く、次いで「うつ」が43.2%、「転倒」が33.7%となっている。全体（市の平均）と比べると、すべてのリスクにおいて全体よりも高くなっており、特に、「運動機能」及び「認知機能」の割合が高くなっている。

世帯類型については、「息子・娘との2世帯」の割合が27.9%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が26.7%となっている。全体と比べると、「息子・娘との2世帯」の割合が高く、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」及び「1人暮らし」の割合が低くなっている。

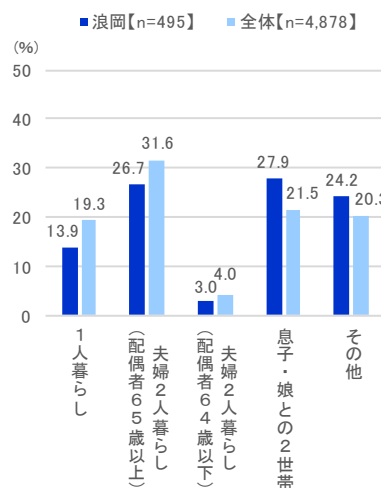
介護生活に必要な支援については、「掃除・洗濯」の割合が40.4%と最も高く、次いで「外出同行」が39.0%、「配食」が35.8%となっている。

既往症割合については、「高血圧」の割合が46.9%と最も高く、次いで「筋骨格」が15.8%、「糖尿病」が12.3%となっている。

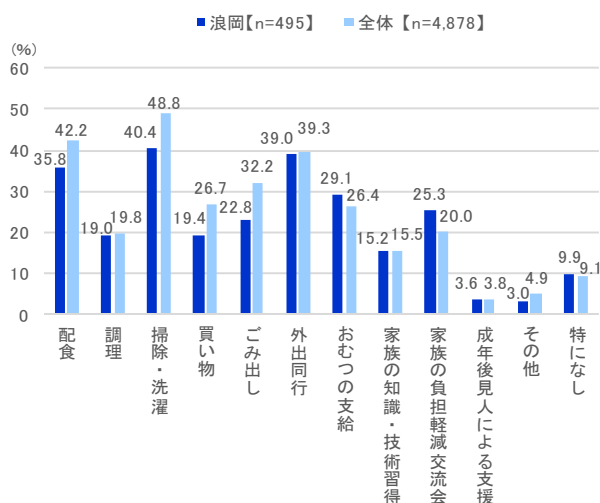
リスク該当者割合・高齢化率



世帯類型



介護生活に必要な支援



既往症割合

